

リアホナ

女性の神権の力との
つながりを
理解する、
34 ページ

困難な時に自問する
3つの質問、
12 ページ

人生での
傑作の絵画、
16 ページ



世界の
教会

イタリア, ローマ





イタリア・ローマ神殿が奉献される2019年3月10日から17日に、世界中の末日聖徒、特にイタリアの聖徒は、喜びに湧くことになるでしょう。「永遠の都」にとって、主の宮以上に意味のある建造物があるでしょうか。

イタリアで初のこの神殿は、ローマ市内の北西部に立地しています。庭に囲まれた宗教・文化センターの一角にあり、ほかに多機能の集会所施設（文化ホールと大会用諸施設を併設）、訪問者センター、家族歴史センター、参加者用宿泊施設があります。

イタリアで伝道活動が始まったのは1850年のことですが、教会への反対運動や厳しい法規制のために、一時期中断していました。教会がようやく伝道活動を再開できたのは1964年のことです。1993年にイタリア政府から正式に法人格を得ました。2012年、教会は「国家の友好団体」として公式な地位を認められ、それによって、一教会としても社会機関としても、もっと多くの善良な活動を行う自由を得ました。

- 現在では、イタリアには2万7,000人近くの末日聖徒が101の集会所に集っています。
- トーマス・S・モンソン大管長（1927–2018年）が2010年のイタリア・ローマ神殿の鋳入れ式を管理し、その式にはローマ副市長も出席しました。
- イタリアには二つの伝道部（イタリア・ミラノ伝道部とイタリア・ローマ伝道部）があります。





神の娘を神権の力に
結びつける

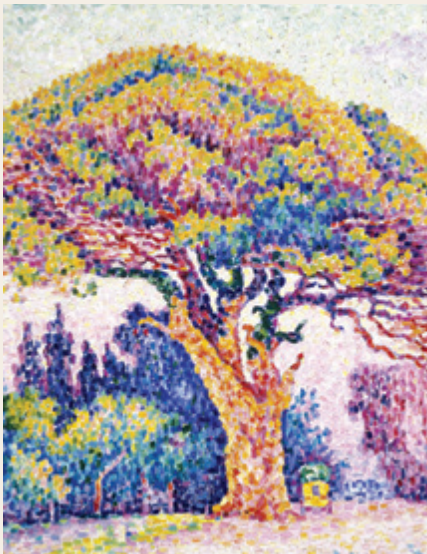
バーバラ・モーガン・
ガードナー

34

死すべき世の冒険

ディーター・F・
ワークトドルフ長老

16



神権について 学ぶべきことが たくさんあります

わたしは、若い女性のときに、そして後に宣教師として伝道しているときに、聖文中のある節、特に伝道活動と神権について述べた節が女性の自分にも当てはまるのだろうかと考えたものです。今は、様々な教会の召しで、また宗教の教師として、ほかの人々から、神権は自分たちにどのように当てはまるのかという同様の質問を受けています。

34 ページのわたしの記事の中で述べているように、ここ数年、教会の指導者たちは、神権についてもっとよく理解することを会員に求めています。ラッセル・M・ネルソン大管長は、「あまりにも多くの兄弟姉妹が、神権の力と権能の概念を十分に理解していない」との懸念を表明しています。¹

「情報が靈感を呼び起こす」という言葉は真実です。わたしは神権について研究し、大学の学生たちにそれについて教えていると、自分の知っていることがいかにわずかだったか気づかされました。それだけでなく、神権に関する永遠の真理に自分の思いと心が開かれたのです。

本誌で神権についてさらに学ぶときに、天の御父が神権によってわたしたちを祝福したいと望んでおられることと、末日の預言者たちがこれらの特権、特にふさわしい男女に神殿で与えられる特権を生かすようわたしたちに心から訴えていることを、理解していただければ幸いです。

心を込めて、

バーバラ・モーガン・ガードナー

注

1. ラッセル・M・ネルソン「神の力と権能によるミニスターリング」『リアホナ』2018年5月号、68



もっと自然に
証を分かち合う
方法
8



新しい学びの方法を学ぶ
中央日曜学校会長会

26

目次

5 神権の権能の源

今日の教会で私たちが神権を持つ方法。

6 信仰の肖像 —— ジェイソン・ウォンとジャッキー・ウォン —— 中国、香港

わたしたちの関係において神はとっても重要です。神がいてくださらなければ別れていたかもしれません。

8 ミニスタリングの原則 —— もっと自然に証を分かち合う方法

簡潔に証を述べることは、日常の状況に大きな変化をもたらします。

12 平安と力の源

カルロス・A・ゴドイ長老

他のあらゆる力の源を失うと、わたしたちはイエス・キリストに頼ることができます。

16 死すべき世の冒険

ディーター・F・ウークトドルフ長老

今は皆さんの人生の点と点はつながっていないかもしれませんが、主を信頼して最善を尽くすなら、いつの日かすべての点のつながりが分かるでしょう。

26 わたしに従ってきなさい —— 新しい学びの方法を学ぶ

中央日曜学校会長会

これらの5つの原則は、さらに良く福音を学び、教えられるように導いてくれます。

30 末日聖徒の声

椅子並べと片付け；仕事場での賛美歌のハミング；暗闇で家族を失う；クラクションとヘッドライトの点滅

34 神の娘を神権の力に結びつける

バーバラ・モーガン・ガードナー

この記事には女性が男性と同じようにすべての神権の祝福を受けることができる方法が書かれています。

短編記事



表紙
写真/
マット・ライアー

コーナー

ヤングアダルト

42

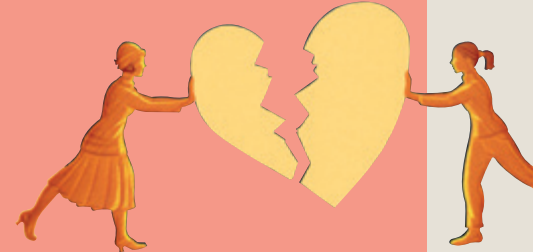
さらに準備し、理解し、
神殿の聖約
守る方法を
学んでください。



青少年

50

どのように**家族歴史**を行い、
質問の答えを捜し、小さな**奇跡**に
注意を払うことがあなたの人生を
祝福するのが発見してください。



子供

祈りと周りの人を愛することでもっ
と**イエスのようになる**方法を見つけ
てください。



もっと読む

福音ライブラリアプリと liahona.lds.org で、以下のことができます：

- 最新号を閲覧する。
デジタル版専用コンテンツを見つける。
機関誌のバックナンバーを探す。
自分の話やフィードバックを送る。
定期購読に申し込む、またはだれかに定期購読を贈る。
デジタルツールを使って学習の質を高める。
好きな記事やビデオを共有する。
記事をダウンロードまたは印刷する。
好きな記事の音声を聴く。

お問い合わせ

質問やフィードバックは liahona@ldschurch.org まで電子メールでお送りください。

信仰を鼓舞する話を、liahona.lds.org から送信するか、以下の住所に郵送してください。

Liahona, floor 23
50 E. North Temple Street
Salt Lake City, UT 84150-0023, USA

デジタル版のみに掲載される特集記事



ローマの訪問者センターにあるステンドグラス

チャケル・ワードレイ、ヘザー・クレアリッジ

イタリア・ローマ神殿訪問者センターのステンドグラスの壁画制作を手助けた芸術家のリーダーがこの作品の意義と象徴について説明しています。



独身者が神殿の結び固めの儀式に参加するべき5つの理由

アレックス・ヒューイ

結び固めの儀式に参加することは、独身者を含めすべてのエンダウメントを受けた会員にとって霊的に鼓舞される経験となります。



神殿に参入するふさわしさは十分ですか

ゼライア・インニス

バルバドスに住むあるヤングアダルトの姉妹は、神殿に参入するふさわしさを得るために完全になる必要はないことを学びます。

リアホナ 2019年3月号 第21巻3号 (18603 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌 (日本語版)
大管長会: ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会: M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ティーター・F・ウーグトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラスバンド、ゲリー・E・スティーブンソン、テール・G・レンランド、ダレット・W・ゴング、ウリセス・ソアレス
編集長: ランディー・D・フランク

顧問: プライアン・K・アシュトン、ランドール・K・ベネット、ベッキー・クレブソン、シャロン・ユバンク、クリスチナ・B・フランコ、ドナルド・L・ホルストロム、ラリー・S・ケーチャー、エリック・W・コビシュカ、リン・G・ロビンズ

実務運営ディレクター: リチャード・I・ヒートン
教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガフ・キャンロン
編集主幹: アダム・C・オルソン

編集主幹補佐: ライアン・カー
出版補佐: フランシスカ・オルソン

執筆・編集: マリッサ・デニス、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリットン、ローリー・フラン、ギャレット・H・ガーフ、ラリー・ボーター、ガント、ジョン・ライアン・ジェンセン、シャロット・ラーカバル、マイケル・R・モリス、エリック・B・マードック、サリー・ジョンソン、オデカーク、ジョシュア・J・パーキー、ジャン・ビンボロー、リチャード・M・ロムニ、ミンディー・セル、チャケル・ワードレイ、マリッサ・ウィティンソン
編集インタートン: アレックス・ヒューイ
実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン
アートディレクター: タッド・R・ビーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、マンディー・ベントレー、C・キンボール・ボット、トーマス・チャイルド、ジョシュア・デニス、デビッド・グリーン、コリー・ピンクレー、エリック・P・ジョンソン、スーズン・ロフグレン、スコット・M・ムーイ、エミリー・チエコ・レミントン、マーク・W・ロビンソン、ブラッド・チャー、K・ニコール・ウォーケンホースト
デザインインタートン: マリッサ・スミス
版權および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ
制作主幹: ジェーン・アン・ビーターズ
制作: アイラ・グレン・アデア、ジュリー・バーテット、

トーマス・G・クローン、ブライアン・W・ギューギ、ギニー・J・ニルソン、マリッサ・M・スミス
製版: ジョシュア・デニス
印刷ディレクター: スティーブン・T・ルイス
配送ディレクター: トロイ・R・パーカー
日本語版翻訳課長: 大森陽子
郵便宛先: Liahona, Fl. 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA.

定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替 (口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512) にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391
発行所: 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30
電話: 03-3440-2351

価格: 年間購読: 国内 1,150円 (送料込み)
(2019年1月より) 海外 1,150円 (+送料実費)
海外在住の方はお近くのデストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。
普通号/大会号 110円

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉、「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルバーニア語、アルメニア語、ビスマラ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語 (簡体字)、クワアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィジー語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マラヤラム語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タビチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語 (発行頻度は言語により異なります)
©2019 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 韓国

著作権情報: 制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的 (教会の召しも含む) で使用する場合に複製することができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。複製資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール cor-intellectualpropertyldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada: March 2019 Vol. 43 No. 3. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 5071.5.2). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.



神権の権能の源

神

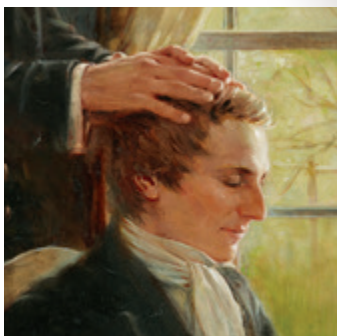
権は神の力であり、神の権能であって、神の救いの業の遂行を手伝うために神からわたしたちに与えられています（『手引き 第2部——教会の管理運営』〔2010年〕、8ページ参照）。主はアダムの時代から、選ばれた僕たちに御自分の神権を与えてくれました。神権は按手によって、またそれらの儀式を記録することにより、ふさわしい男性に与えられるため、神権者は今日、イエス・キリストの使徒たちから神権を受けたジョセフ・スミスまでメルキゼデク神権の系譜をたどることができます。

1. ペテロ、ヤコブ、ヨハネ

イエス・キリストは、現世で務めを果たしておられたときに、ペテロ、ヤコブ、ヨハネを含む御自分の使徒たちに神権の権能をお与えになりました（マタイ10章参照）。

2. ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリ

1829年5月15日、バプテスマのヨハネが、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに現れて、アロン神権を授けました。それから数週間後、古代の使徒ペテロ、ヤコブ、ヨハネがジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにメルキゼデク神権を授けました（教義と聖約27:12; 128:20; *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, sel. Joseph Fielding Smith [1976], 81, 101参照）。



3. 末日の使徒たちと指導者たち

預言者ジョセフ・スミスはほかのふさわしい男性たちに神権を授け、その人たちが預言者の指示の下でほかのふさわしい男性たちに神権を授けました。こうして現代までそれが続いています。



神権の鍵

神権の鍵とは、地上における神権の行使について指示を与えるために神から神権指導者に授けられている権能です。

ある神権者から別の
人への神権の授与も
神権の行使に含まれ
ます。例えば、ワード
における神権の鍵を
持っているビショップだけが、
ワードの成人男性や若い男性
に、アロン神権を受ける許可を
与えることができます。
1836年4月に、預言者ジョセ
フ・スミスは、カートランド神殿
でモーセ、エライアス、エリヤか
ら大切な神権の鍵を受けました
（教義と聖約110章参照）。■

神権の系譜

ご自分の神権の系譜を入手したい方は、件名欄に「PLA」と記入して、lineofauthority@ldschurchに電子メールをお送りください（英語、ポルトガル語、スペイン語のみ入手可能です）。

神権についてさらに学ぶには、本誌34ページの「神の娘を神権の力に結びつける」を御覧ください。





ジェイソン・ウォンと ジャッキー・ウォン

中国、^{ホンコン}香港



男女の役割に対する見方は文化によって大きく異なりますが、力を合わせていくという新婚夫婦の課題は万国共通のようです。ジェイソンとジャッキーは協力しながら重要な教訓を学びました。

レスリー・ニルソン、フォトグラファー

ジェイソン：

わたしは、家事はすべて女性がやるものだと思って育ちました。それは現実的ではないことがすぐに分かりました。ジャッキーはとても忙しく、仕事のプレッシャーがたくさんありました。わたしにもプレッシャーはありましたが、もっと手伝うべきだと気がついたのです。

ジャッキー：

新婚の夫婦になるということは大きな変化です。わたしたちの関係において神はとっても重要です。神がいてくださらなければ別れていたかもしれません。

ジェイソン：

もっと一緒に夫婦の時間を過ごさなければいけないと、お互いに気がつきました。だから今では一緒に家事をしています。そうすることで家事も片付きますし、一緒に過ごすこともできます。

ジャッキー：

夜も時間を取り、お互いどんな一日だったか話すようにしています。それから、寝る前に一緒に祈り、聖文を読んでいます。福音に従って生活することで、わたしたちの結婚生活は祝福されています。

もっと読む

ラッセル・M・ネルソン大管長が証する日の栄えの結婚の祝福については、lds.org/go/031906 を御覧ください。

夫婦のきずなや家族を強めるためのリソースは、lds.org/go/031907 を御覧ください。

「信仰の肖像」のほかの記事は、lds.org/go/18 のメディアライブラリーで御覧になれます。

ミニスタリングの原則

もっと自然に 証を分かち合う方法



ミニスタリングとは証することです。

柔軟性のあるミニスタリングにより、
かじこまった方法でも、くだけた方法でも、証を分かち合う機会が
増えるかもしれません。

わたしたちは「いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、……神の証人になる」と聖約しました（モーサヤ18：9）。自分の証を分かち合うことは、証人になることの一部であり、人の心に触れてその人の人生を変えてくださるよう聖霊を招く力強い方法です。

「証、つまりほんとうの証は、御霊から生じ、聖霊によって確認され、人の生活

を変えてくれるものです」と十二使徒定員会会長代理のM・ラッセル・バラード会長は述べています。¹

しかし、中には証を述べるのが怖い、または気詰まりに感じる人がいます。それは、証は断食証会で、あるいはレッスンを教えるときに分かち合うものだと決めつけているからかもしれません。そのようなこまかった場面では、自然な会話には似つかわしくない言葉や言い回

しを用いがちです。

日常の場で自分が信じていることを分かち合うことがどんなに簡単かを理解すると、証を分かち合うことで、自分たちやほかの人の生活に、もっと頻繁に祝福がもたらされるようになるかもしれません。以下に、日常の場で証を分かち合うのに役立つアイデアを幾つか紹介します。

簡潔にする

証は「証を述べたいと思います」という言葉で始める必要はありませんし、「イエス・キリストの御名によって、アーメン」で終わる必要もありません。証とは、真実だと信じ知っていることを伝えることです。ですから、道端で近所の人と、その人の抱える問題について話しているときに、「必ず神様が祈りにこたえてくださるわよ」と言うことが、教会の壇上から述べられるどんな証にも匹敵する力強い証になることがあるのです。その力は美辞麗句から来るものではありません。真理を確認してくださる聖霊から来るのです（教義と聖約100：7-8参照）。



救い主の模範

サマリヤ中を旅してお疲れになった救い主は井戸でひと休みしようと立ち止まり、一人の女性と出会われました。主は井戸から水をくんでほしいと言って会話を始められました。この女性が日常的に行っている作業を用い、イエスは、御自身を信じる人々に与えられる生ける水と永遠の命について証する機会とされました（ヨハネ4：13-15, 25-26参照）。

自然な会話の流れに合わせる



進んで分かち合いたいという気持ちがあれば、日常の会話に証を織り込む機会は周りにたくさんあります。以下がその例です。

- 週末はどうだったかと人に聞かれたとします。あなたは「とても良かったですよ」と答え、そして次のように付け加えます。「教会はまさにわたしの必要としていたものでした。」
- あなたが経験している試練について、だれかが同情して「お気の毒です」と言ったとします。あなたはこう答えます。「心配してくれてありがとう。神様が最後まで助けてくださると確信しています。これまでも助けてくださいましたから。」
- だれかがこう言ったとします。「このひどいお天気、早く良くなってほしいわ。」または「バス、ずいぶん遅いね。」あるいは「ひどい渋滞だね。」それに対して、こう返事をすることもできます。「きっと神様がすべてうまくいくように助けてくださいますよ。」





用意を しておく

わたしたちの中には、いきなり証を述べるのが怖い、または気詰まりに感じる人がいます。前もって計画し、「[わたしたち]のうちにある望みについて説明を求める人には、いつでも弁明のできる用意をして[おく]」方法があります(1ペテロ3:15)。

第1に、用意をするためには生活を見直す必要があるかもしれません。生活に聖霊を招き、義にかなった生き方をすることで日々証を強めているでしょうか。祈りや聖文学習を通して、御霊が語りかけ必要な言葉を授けられるようにしているでしょうか。主はハイラム・スミスにこう勧告されました。「わたしの言葉を告げようとしないうで、まずわたしの言葉を得るように努めなさい。そうすればその後、あなたの舌は緩められる。」(教義と聖約11:21)

第2に、用意しておくためには先を見越し、その日またはその週に訪れるであろう証を分かち合う機会について考えてみる必要があるかもしれません。信条を分かち合うどのような好機があるか考えることで、その機会に備えておくことができます。



経験を 分かち合う

わたしたちは試練について話し合うことがよくあります。だれかにその人が直面している問題を打ち明けられたら、神が試練のさなかにあった自分を助けてくださったときのことを伝え、神はその人も助けてくださる、わたしはそう確信している、と証するとよいでしょう。主は、試練の中でわたしたちを強めると言っておられます。それは「あなたがたがこの後、わたしのために証人になれるようにするため、また主なる神であるわたしが、苦難の中にいる自分の民を訪れるということ、あなたがたが確かに知ることができるようにするためである。」(モーサヤ24:14) 試練の中で主がどのように助けてくださったかを証するとき、わたしたちは主の証人となることができるのです。



常に救い主と その教義に 集中する

バラード会長はこう教えています。「教会の会員として様々な事柄に対して証を持つことができますが、絶えず教え合い、分かち合うべき基本的な真理が幾つかあります。」例として、バラード会長は「神がわたしたちの御父であられ、イエスがキリストであられること、救いの計画は救い主の贖いを中心としていること、ジョセフ・スミスがイエス・キリストの完全な永遠の福音を回復したこと、そしてわたしたちの証が真実であることをモルモン書が証明していること」を挙げています。これらの真理について真摯に証するとき、わたしたちは御霊を招くことができ、御霊はわたしたちの言ったことが真実であると証してください。バラード会長は「キリストに対する純粋な証が述べられているときに、御霊を制止することはでき[ない]」と強調しています。²



簡潔な証は人生を変えることができる

ラッセル・M・ネルソン大管長はある看護師について話したことがあります。彼女は、難しい手術の後で当時のネルソン医師に次のように尋ねました。「どうしてあなたはほかの外科医と違うのですか？」彼女の知っている外科医の中には、そのようなプレッシャーの大きい手術をするときにいらいらしたり、不敬な言葉を使ったりする人々がいたからです。

ネルソン医師は様々な形で答えられたはずですが、簡潔にこう答えました。「モルモン書が真実だと知っているからです。」

その答えがきっかけとなり、看護師は夫とともにモルモン書を研究し始めました。その後、ネルソン大管長はその看護師にバプテスマを施しました。数十年後、新たに聖任された使徒として合衆国のテネシー州でステーキ大会を管理したとき、ネルソン大管長は思いがけなく、この看護師とうれしい再会を果たしました。彼女は、大管長の簡潔な証とモルモン書の影響を受けて改宗したことが、さらに 80 人を改宗に導く助けとなったと告げたのです。³

行動を促す

証を分かち合うことを恐れないでください。あなたの証はミニスタリングを行う相手を祝福することができます。今日あなたは、このようなアイデアや自分のアイデアを使ってどのように証を分かち合いますか。



注

- 1.M・ラッセル・バラード「純粋な証」『リアホナ』2004年11月号、40
- 2.M・ラッセル・バラード「純粋な証」41 参照
- 3.In Jason Swensen, “Be Ready to Explain Your Testimony Using the Book of Mormon, President Nelson Says,” Church News section of LDS.org, Feb. 6, 2018, news.lds.org.

「ミニスタリングの原則」の記事は、互いを思いやる方法を学ぶためのものであって、訪問時にメッセージとして伝えるものではありません。仕える相手をよく知るようになると、心にかけて、思いやっていることを伝えるだけでなく、聖霊の促しによって相手に必要なメッセージも分かるようになります。

経験を分かち合う

皆さんのミニスタリングの経験、またはミニスタリングを受けた経験を募集しています。liahona.lds.org にアクセスし、「投稿する」をクリックしてください。



問題に直面しても
平安と明るさと
強さを保つには
どうすれば
よいでしょうか。





七十人会長会
カルロス・A・
ゴドイ長老

平安と力の源

中

央幹部として最も心を動かされた出来事の一つは、ベネズエラの愛する聖徒たちと奉仕した経験です。ベネズエラの人々は、教会員を含め、困難な状況で暮らしています。しかし、このような現実があるにもかかわらず、度々この国を訪れるとき、一般の人々と末日聖徒には違いがあるのをわたしは目にしました。

ベネズエラでの経験

ベネズエラの聖徒は、最善を尽くしています。確かに、多くの聖徒が苦しみ、苦勞しており、教会は断食献金や福祉プログラム、自立支援の取り組みを通して、助けを必要としている人を支援してきました。しかし、悲しむ理由は容易に見つかり、様々な問題に直面してもなお、聖徒たちは幸せな民です。仲良く交わり、よく笑顔を見せ、より良い未来を待ち望んでいます。

ベネズエラの青少年についても同じことが言えます。彼ら自身や家族の問題を通して強められ、将来に備えています。さらに、ベネズエラの宣教師も同様です。自分自身や求道者、その家族のために強くなければなりません。実際、彼らは強い宣教師です。彼らは、ヒラマンの2,000人の若い勇士を思い起こさせてくれます。数は少ないながらも、彼らは

「非常に勇敢」です（アルマ 53：20 - 21 参照）。ベネズエラにおいて、主は強い母親、父親、指導者となる世代の人々を備えておられます。ベネズエラの聖徒と交わる度に、わたしたちは福音と将来に対する信仰に満たされます。

困難のさなかに平安を保つ

このような問題に直面しているベネズエラの会員は、どのようにして、平安と明るさと強さを保っているのでしょうか。彼らの多くは、さらに神に頼るようになっていたのだとわたしは思います。その結果、あらゆる力の源から力を受けているのです。天の御父から受ける祝福に気づき、イエス・キリストと主の贖いの力に頼り、聖霊から慰めと助けと力を得ています。その結果、重荷が軽くなり、悲しみが和らぎ、試練のさなかにあって平安を見いだしているのです。

ベネズエラの会員は、モルモン書に出てくるアルマとその民に起こった出来事の現代の例です。

「そこで、アルマと彼の同胞^{ほらから}に^{ほらから}負わされた重荷は軽くなった。まことに、主は、彼らが容易に重荷に耐えられるように彼らを強くされた。そこで彼らは心楽しく忍耐して、主の御心にすべて従った。」（モーサヤ 24：15）

イエス・キリストの贖いの力

ベネズエラの会員と時間を共にすることにより、神がわたしたちを祝福したいと望んでおられるという証が強まりました。アルマとその弟子たちの経験にあるように、ベネズエラの聖徒たちは強められ、能力が高められたために彼らが負っている重荷は軽くなりました。救い主は、重荷を負っているならば主のもとに来よう招いておられます。そうするならば、休みが与えられるでしょう（マタイ 11:28 - 30 参照）。この善良な会員たちは、主の力を受けて強められ、重荷を負うことができました。

試練の結果、また救い主とその恵みに信頼を置く

- わたしは、救い主の贖罪の力を通して、力と希望を見いだせることを理解しているだろうか。

救い主はどのようにしてそのような慰めと力を与えることがおできになるのでしょうか。また、その理由は何でしょうか。聖文にはこのように述べられています。「そして神の御子は、あらゆる苦痛と苦難と試練を受けられる。これは、神の御子は御自分の民の苦痛と病を身に受けられるという御言葉が成就するためである。

また神の御子は、御自分の民を束縛している死の縄目を解くために、御自身に死を受けられる。また神の御子は、肉において御自分の心が憐れみで満た

ベネズエラの聖徒たちは
幸せな民です。
仲良く交わり、
よく笑顔を見せ、
より良い未来を
待ち望んでいます。



聖徒たちが
強くあり続けるために
行っていることの一つは
預言者や使徒たちの勧告に
耳を傾けることです。
2013年に
クエンティン・L・
クック長老が
ベネズエラのカラカスを
訪問したときも
長老の話を聞くために
集まりました。

ことに対する祝福として、彼らは心の変化を経験し、一人一人が「子供のように従順で、柔和で、謙遜で、忍耐強く、愛にあふれた者となり、子供が父に従うように、主がその人に負わせるのがふさわしいとされるすべてのことに喜んで従〔う〕」ようになりました（モーサヤ 3:19）。

簡潔に言うと、彼らは試練を通して、すべてのキリストの弟子が手に入れたいと望むキリストの属性を育んだのです。

彼らが経験した過程は、皆が通らなければならないものです。だれもが生活の中で問題や試練を経験します。そのとき、このように自問するべきです。

- わたしは、困難な時を乗り越えられるよう、神の助けに頼っているだろうか。
- わたしは、より良い人となるため、またわたしたちの進歩に不可欠なキリストの特質を育むために、進んで代価を払おうとしているだろうか。

されるように、また御自分の民を彼らの弱さに応じてどのように救うかを肉において知ることができるように、彼らの弱さを御自分に受けられる。」（アルマ 7:11 - 12）

主は御存じである

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老はこのように教えています。「救い主はわたしたちの罪悪のためだけでなく、実に頻繁にわたしたちを悩ます不平等や不公平、苦痛、苦悶、情緒的な苦悩のためにも苦しめました。自分の弱さに悩むとき、『だれも理解してくれない。だれにも分からない』と声を上げることがあるかもしれません。分かる人間はいないかもしれません。しかし、神の御子はすべてを御存じであり、完全に理解しておられます。わたしたちが経験するより先に、わたしたちの苦しみを味わい、重荷を負われたからです。そして主は究極



くびきは、複数の動物が力を合わせて引っ張ることを可能にします。同様に、イエス・キリストはその贖いの力と、人に能力を授ける力にわたしたちを結びつけてくださいます。

の代価を払い、その重荷を負われたので、わたしたちの人生の実に様々な局面で、わたしたちの気持ちを完全に理解し、憐れみの腕を伸べることでおできになるのです。」(「贖罪と現世の旅」『リアホナ』2012年4月号、19)

ベドナー長老はこの後、次の聖句を引用しています。この聖句は、イエス・キリストの贖罪のおかげでだれもが平安を見いだせることを理解する助けとなります。

「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」(マタイ 11:28-30)

ベドナー長老の言葉にわたしの証を加えたいと思います。わたしも自分の経験から、救い主の愛の御腕に強さと平安を見いだせることを知っています。救い主の贖いの力と人に能力を授ける力は、罪の赦しの源であるだけでなく、希望と平安、強さ、慰め、才能、靈感の源であり、現世の旅路を歩み、成功するうえで必要なすべてのものの強かな源でもあります。わたしたちは、「聖なるメシヤの功德と憐れみと恵み」に真に頼ることができます(2 ニーファイ 2:8)。

自分の生活に応用する

この力の源を活用するにはどうすればよいでしょうか。必要な助けを得るには、何をすることが必要でしょうか。

まず、主イエス・キリストと主の贖罪を信じる信仰を持たなければなりません。主と御父が平安と力の

源であられることを理解する必要があります。御二方は、何事でも実現する力をお持ちです。

次に、わたしたちは自分たちが経験する何事においても、行動を起こし、最善を尽くす必要があります。弱さを克服しようとするのであれ、悲しみを和らげようとするのであれ、才能を育む努力をするのであれ、その必要があります。最善を尽くしてもなお不十分であると感じることがあっても、真に最善を尽くすならば、主はその恵みを通して、わたしたちの必要について祝福

を授けてくださいます。

ベドナー長老はこのように述べています。「贖罪が持つ人に能力を授ける力について理解し、その力を自分の生活で用いるようになるとき、状況が

変わるように祈るのではなく、状況を変える力を祈り求めるようになるでしょう。受け身でいるのではなく、自ら選択し行動する者になるでしょう(2 ニーファイ 2:14 参照)。」(「贖罪と現世の旅」16)

もう一つ覚えておくべきことは、自分の分を果たすときに、主は傍らにいてくださるということです。わたしたちは独りで自分の闘いをする必要はありません。主は、時の初めから終わりまでともにいてくださいます。イザヤの言葉が真実であることを証します。「あなたの神、主なるわたしはあなたの右の手をとってあなたに言う、『恐れてはならない、わたしはあなたを助ける。』」(イザヤ 41:13) このことは、ベネズエラの聖徒についても言えますし、世界各地の聖徒についても言えます。■

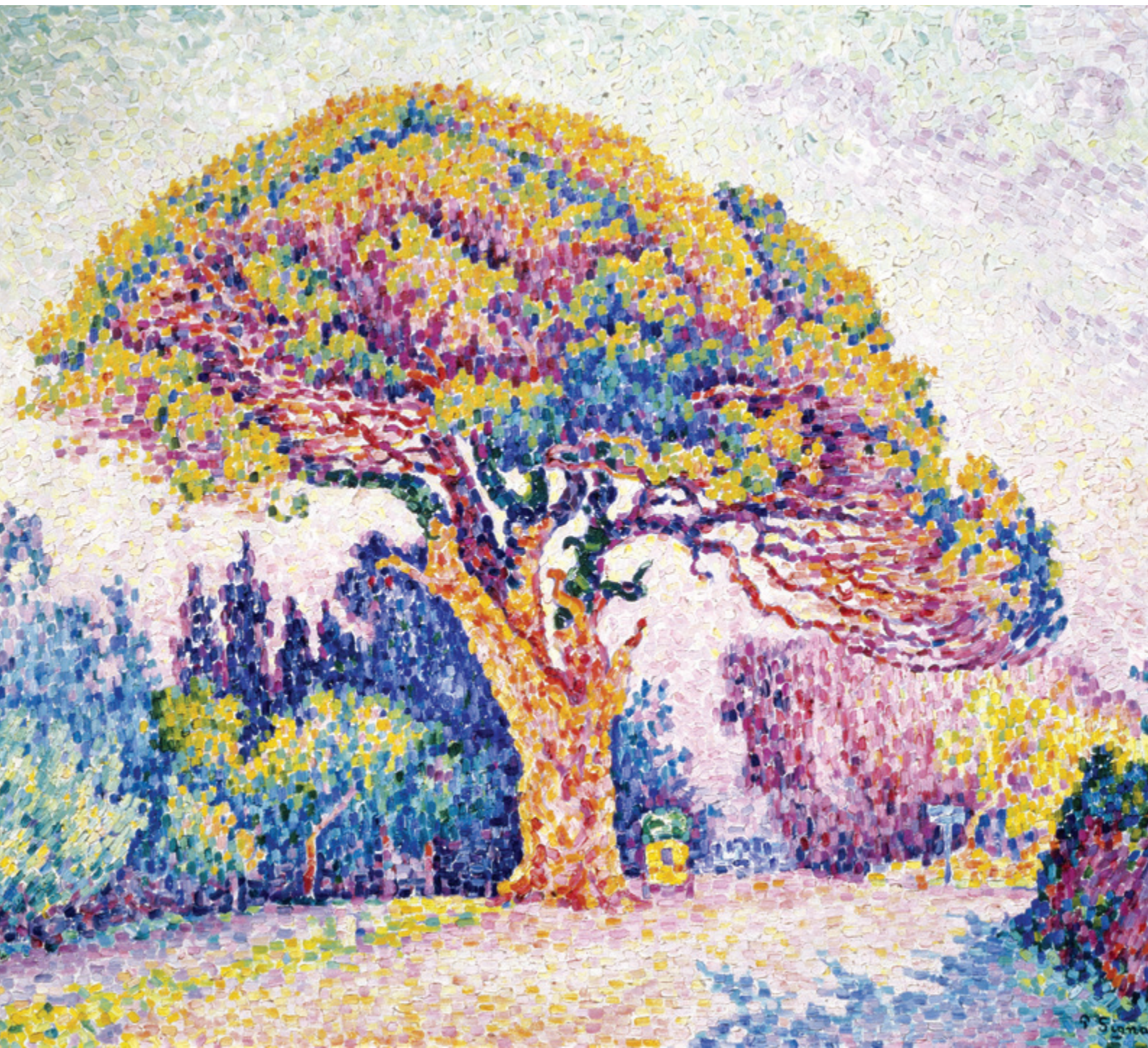
自分の分を果たすときに、

主は傍らにいてくださるということを

覚えていてください。

わたしたちは独りで自分の闘いをする

必要はありません。





十二使徒定員会
ディーター・F・
ウークトドルフ
長老

死すべき世 の冒険

信じてください。そうすれば、神はともにいてくださいます。主に心を傾けてください。そうすれば、主は旅をする皆さんを導いてくださいます。

2018年1月14日、カンファレンスセンターで行われたヤングアダルト対象のワールドワイド・ディボーションルにおける話“The Adventure of Mortality”（「死すべき世の旅」）から。

今日皆さんとここにいる、皆さんの思いや強さ、活力を感じることができ光栄です。また、ウークトドルフ姉妹が皆さんに話す機会があったことを、とてもうれしく思います。ハリエットはわたしの人生にとって、まさに太陽の光です。彼女を知る人は皆、彼女が大好きです。彼女は周りの人を向上させ、幸せにします。わたしは確かにその恩恵にあずかりました。わたしたちはつい最近、結婚55周年を迎えました。わたしたちの2人の子供とその伴侶、6人の孫とその家族、4人のひ孫を見るとき、この人生がどれほどすばらしい冒険であったかということに驚かされます。

答えがすぐに得られる時代

今日の集会のために準備をしていたとき、面白い考えが浮かびました。わたしが18歳から30歳だった時期は、もうバックミラーで見えないほど遠い過去ですが、自分の今の年齢の割には、中身はまだ若いと感じます。実際、年配の人の多くは自分のことを、とても長い間生きている若者だと感じています。

皆さんが私たちを見るとき、「上の世代」は皆さんが想像しているよりももっと皆さんの年代と多くの共通点があることに驚くでしょう。年齢にかかわらず、天の御父の子供たちには、違いよりも共通点の方が多いと思います。例えば、皆さんの多くは、神や自分のことについて疑問を持ったことがあるはずですが。それは皆さんよりずっと年上の人々が抱く疑問と同じように深く、根本的なものです。

「神はほんとうに存在し、わたしに関心をお持ちだろうか。」

「わたしは正しい道を歩んでいるだろうか。」



「(天からの) 答えを得るには、往々にして犠牲や努力、忍耐が必要です」とウークトドルフ長老は語った。(写真は、ウークトドルフ姉妹とヤングアダルトとともにカンファレンスセンターにて。)

「なぜ時々、むなしさや不安、疎外感、孤独を感じるのだろうか。」

「なぜ神はわたしの人生に介入してくださらないのだろうか。」

「なぜ祈りにこたえてくださらなかったのだろうか。」

「なぜ神はわたしがこの悲しみや病気、不幸を経験することをお許しになったのだろうか。」

これらの疑問に答えるのは難しいことです。

すぐに答えが得られ、絶対的で議論の余地がないと思える情報がグーグルで検索できるこの時代では、自分にとって最も個人的で重要な差し迫った疑問に対する答えがすぐに得られないと、時々もどかしさを感じてしまいます。天に心を向けても、得られるのはくるくると回る「待機中のカーソル」のように思えて、じれったくなります。

わたしたちは待つのが好きではありません。

検索に数秒以上かかると、接続が切れているか故障していると考えます。やきもきして、検索を断念するかもしれません。しかし、永遠に関する疑問や霊にかかわる事柄の場合には、もっと忍耐強くならなければなりません。

すべての答えに同等の価値があるわけではありません。この世の知恵や世論から答えを得るのは簡単ですが、そういうものは、新しい理論や傾向が現れると、すぐに価値を失ってしまいます。天からの答え、すなわち永遠の答えは、このうえなく大切なものです。このような答えを得るには、往々にして犠牲と努力、

忍耐が必要です。

こういうものは、待つ価値のある答えです。

わたしの目的は、天の御父が皆さんを御存じで、皆さんの声を聞き、決してお見捨てになることはないという確かな証を述べることです。皆さんが主に心を傾け、主の道に従うよう努力するならば、主は皆さんの人生に介入し、この死すべき世において大いなる胸躍る冒険の旅をする皆さんに、道を示してくださいましょう。

点と点をつなぐ

現代の偉大な革新者の一人であるアップル社のスティーブ・ジョブズ氏は、次のような考えを持っていました。「先を見通して点と点をつなぐことはできません。振り返ってつなぐことしかできないのです。ですから、将来何らかの形で点と点がつながると信じなければなりません。」¹

どういう意味でしょうか。19世紀末に、ジョルジュ・スーラやポール・シニャックなどの画家たちは、後に

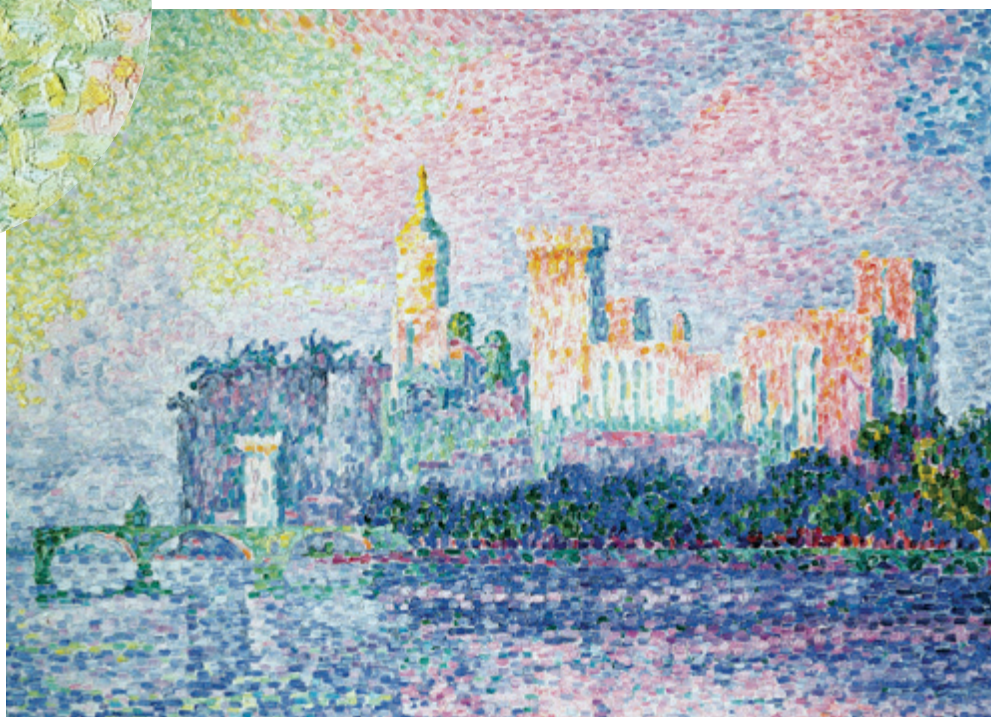
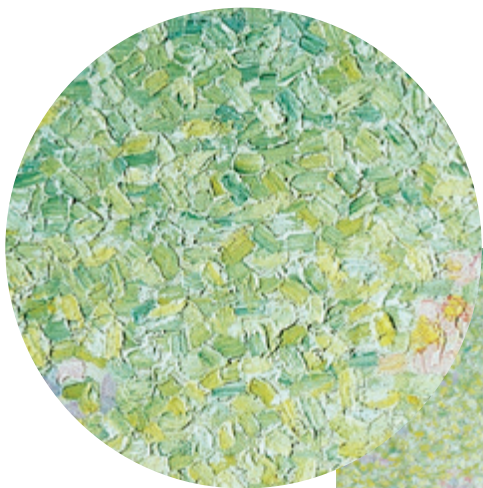
イエス・キリストの福音という
枠組みの中で
人生を見ると、
人生における様々な点が
相互にどのようにつながって
いるかが見えてきます。

新印象派として知られる新しい様式の絵を描き始めました。彼らの技法はキャンバスに小さな色の点を乗せるというものでした。近くで見ると、つながりのない乱雑な点に見えます。しかし、絵の全体を見ると、点が混ざり合って色を作り出し、その色が形を成し、美しい絵が現れます。一見気まぐれで分かりにくく見えたものが、意味を成し始めるのです。

人生は時に、新印象派の絵のようです。日々の瞬間や出来事を構成する色の点は、時にはつながりのない無秩序なものに見えるかもしれませんが。それらに秩序があるかどうか、あるいは何らかの目的があるかどうかは分かりません。

しかし、一歩下がって永遠の視点から見るとき、そしてイエス・キリストの福音という枠組みの中で人生を見ると、人生における様々な点が相互にどのようにつながっているかが見えてきます。まだ絵の全体は見えないかもしれませんが、忍耐すれば、美しくすばらしいデザインがあることを信じるに足るくらい見えてくることでしょう。そして、神を信頼し、その御子イエス・キリストに従うように努めるならば、いつかわたしたちは、完成した作品を目にし、神の手がわたしたちの歩む道を示し、導いてくださっていたことを知るでしょう。

また、偉大な芸術家であられる神がそれらの乱雑な点に対して初めから計画をお持ちであったことが分かるでしょう。そして、神がわたしたちの才能を増し加え、様々な機会を用意し、自分では想像することも達成することもできない栄光に満ちた可能性へと導いてくださったことを知るでしょう。わたしは自分の人生で確かにそれを見てきました。





皆さんはこう自問しなければなりません。「神を信じるのに十分な信仰を奮い起こすことができるだろうか。主が自分を愛し、導くことを望んでおられることに信頼を置こうとしているだろうか。」

死すべき世のわたしの冒険

わたしが幼かったころ、わたしの家族はすべての物を置いて家から逃げ出さざるを得なかったことが、2度ありました。どちらの場合も、新たな転居先の人々はわたしたちを「卑しい」者と見なしました。同年代の子供たちの間では、わたしは言葉になまりがあるせいでよそ者扱いされ、からかいと笑いの格好的になりました。

転居によるトラウマやストレスのせいで勉強が遅れ、1年留年してしまいました。東ドイツで、わたしは第二言語としてロシア語を学びました。難しかったのですが、なんとか習得しました。そして、西ドイツでは、今度は英語を学ばなければなりませんでした。

わたしには不可能だと思われました。わたしの口

は英語を話すには向いていないと思ったのです。

わたしは10代のころに、美しく大きな茶色い目をしたこのうえなくすばらしい女の子に一目ぼれしました。残念ながら、彼女はわたしに少しも興味がないようでした。

戦後のドイツに住む、成功する可能性のない取るに足りない貧しい若者。それが当時のわたしでした。

しかし、良いことも幾つかありました。家族から愛されていると知っていましたし、学校にも教会にも、目標を常に高く持つよう励ましてくれる教師がいました。ある若いアメリカ人の宣教師が教えてくれたことを今でも覚えています。「もし、神が〔あなた〕の味方であるなら、だれが〔あなた〕に敵し得ようか。」²

その言葉には、何か大きな力が宿っている気がしました。もしそれがほんとうなら、もう恐れる必要はないと思いました。

そこで、わたしは信じました。そして神を信頼しました。

一時期、わたしは実習生でした。ある教師から、目標を高く持ち、夜間学校で機械工学を学ぶように勧められました。人一倍努力する必要がありました。そのおかげで航空学への強い情熱に気づくことができました。パイロットになるには英語が必要だということが分かったときには、ショックでした。しかし、わたしはパイロットになりたいと思いました。そして、どういうわけか奇跡的にわたしの口に変化が起きて、英語はもはや不可能な言語ではなくなりました。

新たな動機と、努力する新たな決意、そして天の御父への信頼をもって、わたしは一步ずつ進み、それが自信につながりました。もちろん、物事がいつも順調に進んだわけではありません。

わたしは19歳のときに、空軍のパイロットの訓練を始めるためにアメリカ合衆国テキサス州サンアントニオに向かいました。飛行機の中で、わたしはテキサスなまりの男性の隣に座りました。そこでわたしは、自分が懸命に努力して学んだ英語は、恐ろしいことに、彼の話す英語とは別物だということに気づきました。

パイロットの訓練学校では、困難なことが幾つもありました。訓練プログラムは、皆が首席の座をねらう非常に競争の激しいものでした。わたしはすぐに自分が不利であることを知りました。クラスメートのほとんどは英語を母国語としていたからです。

訓練学校の教官たちは、もう一つ不利となり得ることについてわたしに警告しました。わたしが教会で多くの時間を過ごしていたことです。地元の会員たちは支部や自分の家にわたしを迎え入れてくれました。そして、わたしたちはテキサス州ビッグスプリングに教会堂まで建てていました。教官たちは、そのような活動が上位の成績を取る妨げになるのではないかと懸念しました。わたしはそう思いませんでした。わたしは神を信頼して最善を尽くしました。

やがて、わたしは、今でも学んでいますが、英語を習得し、クラスで1番の成績でパイロットの訓練を終えました。戦闘機のパイロットになり、後に定期航空路線の機長になりました。そして、あの美しい憧れの茶色い目をした女の子が、わたしの妻になったのです。



小さなことを完璧に行う

ここに教訓は含まれているでしょうか。わたしは幾つかあると思います。

一つは、人生の多くの大きな難しい課題に押しつぶされないように、ということです。「容易なこと」、すなわち神が行うよう求めておられる「小さな」ことを行うと決意し、できるかぎり完璧にそれを行うならば、大きなことは自然についてきます。

完璧に行うことのできる小さな容易なこととは、聖文を研究すること、知恵の言葉を守ること、教会に出席すること、誠意をもって祈ること、什分の一と献金を納めることなどです。

したくないと思うときでも、これらを行ってください。これらの「犠牲」は小さく思えるかもしれませんが、犠牲は「天の恵み」をもたらす大切なものです。³

ある意味で、皆さんの小さな簡単な犠牲は日常生活の中の数々の点であり、それらが皆さんの人生という名画を作り出すのです。今は点と点がどうつながるのか分からないかもしれませんが、まだ知る必要ありません。まずは今生きている瞬間に必要なだけの信仰を持ってください。神を信頼してください。そうすれば、「小さなことから大いなることが生じ」ます。⁴

神への信頼

今、皆さんはこう考えているかもしれません。「ウークトドルフ長老、それはすてきな話ですね。でもあなたは使徒です。わたしは一般の教会員です。わたしの祈りはこたえられません。わたしの人生に導きはありません。わたしのための計画があるとしたら、それはリサイクル版の計画です。お下がりの計画です。頭をなでられながら、『今あるもので満足してね』と言われる計画です。」

愛する友人の皆さん、皆さんは生きておられる全人類の神の子供です。神は皆さんを愛しておられ、皆さんが成功するよう望んでおられます。神は皆さんが成功するように計画を用意されました。スティーブ・ジョブズ氏の言葉を思い出してください。「先を見通して点と点をつなぐことはできません。振り返ってつなぐことしかできないのです。」



皆さんの年齢のとき、わたしは自分の人生がどこに向かっているのか分かりませんでした。点と点がつながるのが見えたことは一度もありませんでした。

しかし、わたしは神を信頼しました。愛する家族と賢明な友人たちの助言に耳を傾けて、一歩ずつ信仰をもって進みました。その時々、最善を尽くせば、全体のことは神が面倒を見てくださると信じました。

神はそうしてくださいました。

神はわたしがまだ知らなかった初めのうちから結末を御存じでした。

わたしは将来を見ることはできませんでしたが、神はおできになりました。

わたしが自分を見捨てられたと感じたときにも、神はわたしとともにおられました。今ではそれが分かります。

箴言には次の偉大な約束があります。「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。

すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」⁵

この聖句の終わりには疑問符はないはずです。むしろ感嘆符を付けるべきだと思います。

ですから、皆さんはこう自問しなければなりません。「神を信じるのに十分な信仰を奮い起こすことができるだろうか。神がわたしを愛し、導くことを望んでおられることに信頼を置こうとしているだろうか。」

実際、多くの場合、自分だけの力で行っても問題はないかもしれませんが、しかし、歩みを導いてくださる神に頼る方が、はるかに人生は良いものとなることを、どうか信じてください。主は皆さんが知ることのできない事柄を御存じであり、

皆さんが想像することのできないような未来を皆さんのために備えておられます。偉大な使徒パウロはこのように証しました。「目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮びもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために備えられた。」⁶

皆さんは天の御父の導きと祝福と支えを頂きたいと思っ

ているでしょうか。

それならば、信じてください。

主を愛してください。

心を尽くして主を求めてください。主の道を歩んでください。すなわち、戒めを守り、聖約を尊び、預言者たちの教えに従い、御霊の促しに耳を傾けてください。

そうすれば、神は皆さんを「今あるより千倍も多くし、また〔皆さん〕に約束されたように、〔皆さん〕を恵んで」くださいます。⁷

これは言うに易しく、行うに難しいと思う人もいるでしょう。現代の歴史から遠くさかのぼらなくとも、神全般に関する信仰や特にこの教会の信仰をくじいたり、あざけったりする否定的な声は聞こえてきます。

そのような声は、比類ないコミュニケーション技術

の発展によって増幅されています。それは皆さんの試練です。しかし、特権でもあります。

皆さんが主の方法でそれに対処するすべを見いだせることを確信しています。これは、死すべき世の皆さんの冒険の一部です。皆さんがそれをどう行うかは、皆さんの将来と、この地上における神の御業で皆さんが果たす役割に、大きな影響を与えます。

しかし、皆さんが人生で経験していることは、自分だけが経験していることではありません。神を信じる信仰が試練やあざけりを受けた世代は、皆さんの世代だけではありません。実際、それは神のすべての子供がこの世で受ける試験の一つのようです。

イエスは弟子たちにこう言われました。「もしあなたがたがこの世から出たものであったなら、この世は、あなたがたを自分のものとして愛したであろう。しかし、あなたがたはこの世のものではない。かえって、わたしがあなたがたをこの世から選び出したのである。だから、この世はあなたがたを憎むのである。」⁸

皆さんは救い主に従う決意をするとき、大きく広々とした建物に住む人々から非難されるであろう可能性を受け入れるべきです。そして、その非難は時に勢いを増して打ち寄せます。⁹ いじめられたり、辱められたりすることさえあるかもしれません。

しかし、皆さんは彼らに答えるのではないことを覚えていてください。皆さんは神に答えるのです。いつの日か、皆さんは神の御前に立って人生の報告をします。

神は皆さんに、この世の誘惑に打ち勝ち、義の道に従うために何を行ったかを尋ねられます。救い主に従ったか、隣人を愛したか、弟子としての道にとどまろうと熱心に努めたか、尋ねられます。

皆さんは両方の道を同時に歩むことはできません。主の弟子として歩む者に用意されている、人の理解を超えた祝福は、バビロン第1ワードに籍を置いたままで受けることはできないのです。愛する友人の皆さん、今こそキリストに従う決意をし、主の道を歩む時です。

いつの日か、今真理をあざけている人を含め、神のすべての子供たちが、何が正しいかを知ります。彼

らはひざをかがめ、イエスがキリストであり、贖い主であり、世の救い主であられることを告白するでしょう。¹⁰ 主が自分のために亡くなられたことを知ることで

しょう。

その日、ほんとうに大切であったのは主の声だけであることが明らかになるでしょう。

皆さんは、信仰を保ち続け、神の戒めを守り、同胞に仕え、この地上に神の王国を築いたことによって得る祝福を確かに知ることでしょう。愛する友人の皆さん、信じてください。そうすれば、神はともにいてくださいます。主に心を傾けてください。そうすれば、主は、死すべき生涯のこの大いなる胸躍る冒険の旅をする皆さんを導いてくださいます。

「問題ではない」

神に人生を導いていただくことについて語る時、一つははっきりさせておきたいことがあります。皆さんは、わたしがこれから話そうとしていることを聞きたくないかもしれません。人生における決断—時に重要な決断—について、何を行うべきか神に伺っても、神ははっきりと答えてはくださらないことがあります。実際、皆さんが福音の基本的な聖約と原則のうちにとどまっているかぎり、何をすることに決めようと、神にとっては問題ではないことがあるのです。

多くの場合、皆さんが決めることは、決めた後に行うことほど重要ではないかもしれません。

例えば、結婚しようとする二人の家族の中に、二人はお似合いではないと思う人がいたとしても、二人は結婚することを選ぶかもしれません。しかし、二人がそう決めた後に、心と思いを尽くして互いと主に対して完全に誠実であれば、その二人には大きな希望があります。互いに愛と思いやりをもって接し、互いの気持ちや霊的、物質的の必要に目を向け、小さなことを常に行うことによって、彼らはお互いにとってふさわしい伴侶となるのです。

その反対は、「完璧な」相手を選んだと思い、大変な仕事は全部終わったと考えている夫婦です。もし優しく接することや一对一のコミュニケーションをやめてしまい、わがままで自己中心的な生活をするようになると、この二人は、悲しみと後悔に至る道を歩んでいるのです。

同じ原則が職業の選択にも当てはまります。それほど世間の評判の良くない職業を選びながらも、自分の仕事を面白く、やりがいのあるものとする方法を見いだそうとして最善を尽くす人には、大きな希望があると思います。

聞こえの良い職業を選びながらも、成功するために必要な情熱を途中で失ってしまう人には、あまり希望はありません。実際、職場の変化にうまく順応することは、皆さんの世代が将来に対処するために伸ばさなければならない最も重要な能力の一つです。

では、主は皆さんに重要な決断をどのように行ってほしいと望んでおられるのでしょうか。

オリバー・カウドリとジョセフ・スミスに与えられた主の指示に、わたしは助けられてきました。主は二人にこう言われたのです。「あなたは心の中でそれをよく思い計り、その後、それが正しいかどうかわたしに尋ねなければならない。」¹¹

天の御父は皆さんに頭脳と心を与えられました。主を信頼すれば、主は、皆さんが意思決定をする際にこの二つをうまく使えるように助けてくださるでしょう。

多くの決断において、良い選択肢は複数あるものです。ジョセフと同僚たちがそのような場面に遭ったとき、導きを求める彼らに、主は興味深い言葉を用いられました。「問題ではない。」¹²

しかし、主はそのすぐ後に「忠実で〔ありなさい〕」と付け加えておられます。¹³

皆さんの仕事は、福音の価値観と原則に根差した、皆さんの得られる情報に基づいて最善の決断を下すことです。決断を下したら、取りかかる事柄で成功するために全力を尽くして努力し、そして忠実であってください。



そのようにしてください。そうすれば、点と点がつながります。

神が皆さんの人生の旅の詳細な日程表を必ずしも与えてくださらないと聞くと、皆さんはがっかりするかもしれませんが、しかし、皆さんは人生の隅々にわたって導きが欲しいとほんとうに思いますか。自分で何とか解決する機会を得る前に、だれかからチートコード〔訳注：ビデオゲームなどのプログラムの一部で、裏技のような操作を可能にするためのもの〕をもらいたいとほんとうに思いますか。そんな人生をほんとうに冒険と呼べるのでしょうか。

愛する友人の皆さん、皆さんが死すべき世の冒険を経験するのは、一度きりです。人生のすべての大きな疑問に対する結末と答えが記載されている自分専用の完全攻略ガイドがあったとしたら、すばらしい達成感や主と自分に対する信頼と自信を取り上げられてしまうことにはならないでしょうか。¹⁴

神が皆さんに選択の自由を与えてくださったおかげで、皆さんは何度も行き先を選ぶことができ、充実した人生を送ることができるのです。死すべき生涯は、結末が定まっていない、「君ならどうする」の物語なのです。皆さんには戒めがあり、聖約があり、靈感を受けた預言者の勧告があり、そして聖霊の賜物があります。それは、皆さんをこの世の幸せと永遠の喜びに導くのには十分すぎるほどのものです。それ以上に、完璧ではない決断を下したとしても落胆しないでください。そのような経験を通して学ぶのですから。それが冒険の旅の一部なのです。

初めから終わりまで順調な旅はありませんが、忠実でいるならば、幸せな結末を確信することができます。エジプトのヨセフの例について考えてみてください。彼は人生で様々な悲惨な目に遭いました。兄たちから奴隷として売られ、犯していない罪のために牢屋に入れられました。ひどい状況にさらされながらも、ヨセフは信仰を保ちました。神を信頼していました。そして、最善を尽くしました。年月がたち、自分が見過ごされ、見捨てられたように思えたときでさえ、ヨセフは信じました。いつも神に心を傾けていました。そして、神はヨセフにマイナスをプラスに変えられることを示されました。¹⁵

その4,000年後の現在でも、わたしたちはヨセフの話から靈感を受けます。

皆さんの旅はそこまで劇的なものではないかもしれませんが、良いときもあれば悪いときもあるでしょう。ですから、ヨセフの模範を覚えていてください。信仰深くいてください。信じてください。正直でいてください。人につらく当たらないでください。いじめをしないでください。神を愛してください。同胞を愛してください。

状況が厳しいと感じるときでも、神を信頼してください。

もっと後にならないと分からないかもしれませんが、皆さんは振り返って、主が確かに皆さんの歩みを導き、道を示して下さっていたことを知るでしょう。

そして点と点はつながっていることでしょう。

覚えておくべき5つの事柄

点がつながったと感じられるまで、この5つのことを覚えておいてもらえますか？

第1に、皆さんの最も深い疑問に対する神の答えは、少し時間がかかり、予想していなかった方法で来ることがあると知ってください。しかし、神の答えには永遠の価値があります。待つ価値があるのです。

第2に、少しの信仰を持ってください。神に心を傾けてください。自分が神にとって重要であると信じ、皆さんが自分で行う以上に神が皆さんの価値を高めてくださることに信頼を置いてください。主について学び、主を愛してください。主を信じ、主と定期的に熱心に話し、主の声を聴いてください。

第3に、弟子としての道を最善を尽くしながら歩んでください。途方に暮れないでください。小さなことをできるかぎり完璧にこなすならば、大きなことは正しい場所に落ち着きます。

第4に、皆さんを落胆させようとする声によって、信仰の旅を諦めたりはしないでください。思い出してください。将来、批判する者に答えるのではなく、天の御父にお答えするのです。大切なのは主の価値観です。

第5に、心と思いに語りかける促しに従うことによって、最善の選択をしてください。そして、それをやり通すために最善を尽くしてください。信仰を持つならば、神は皆さんの永遠の幸いのために皆さんの誠実な努力を神聖なものとしてくださいます。¹⁶

これらを行うならば、最終的にすべてうまくいきます。

救い主に従おうと努めるならば、皆さんの自信は増します。¹⁷ そして、忠実さをもって歩み、キリストの光に向かって心を開くならば、皆さんの内にある神の愛が成熟し、隣人を愛する力が精錬されるでしょう。

これらはすべて皆さんに幸福と喜びをもたらします。

平安をもたらします。

そして、いつの日か永遠の栄光をもたらします。

将来そのような日が来て、皆さんは、この死すべき世の貴い胸躍る冒険を振り返り、理解するでしょう。点と点が確かにつながって



美しい模様となり、皆さんの想像を超えた崇高なものとなるのを目にするのです。

神御自身が豊かな愛と恵みと思いやりをもっていつもそばで皆さんを見守り、祝福し、また神を目指して歩む皆さんの歩みを導いて下さっていたことを、皆さんは言葉にならない感謝とともに知ることでしょう。■

注

1. Steve Jobs, Stanford University commencement address, June 12, 2005.
2. ローマ 8:31
3. 「たてよ、主の召したまいし」『賛美歌』16番
4. 教義と聖約 64:33
5. 箴言 3:5-6
- 6.1 コリント 2:9
7. 申命 1:11
8. ヨハネ 15:19
- 9.1 ニーファイ 8:26-28 参照
10. ローマ 14:10-12; ペリビ 2:10 参照
11. 教義と聖約 9:8
12. 教義と聖約 60:5; 62:5; 80:3
13. 教義と聖約 62:5
14. 教義と聖約 121:45 参照
15. 創世 37, 39-46 章参照
- 16.2 ニーファイ 32:9 参照
- 17.2 ニーファイ 32:9 参照



中央日曜学校
会長会

新しい学びの方法を 学ぶ

新しい教科課程を進めるに当たって、福音を学び教える助けとなる次の5つの原則について考えてみましょう。

初

等協会、日曜学校および家庭において『わたしに従ってきなさい』を使い始めて、2か月になります。どのような印象を受けたでしょうか。新しいリソースは、あなたと家族にとってどのような助けとなったでしょうか。

以下の、新しいリソースを効果的に利用するための原則を読むときに、幾つかの質問について考えてください。では、これらの5つの原則が、学習者にも教師にもどのように当てはまるかを見てみましょう。

原則その1:

新しい教科課程は
家庭における学びを
高めるものである

学習者:

1週間は168時間ですが、そのうちのほんの数時間を教会で過ごします。教会でたくさんのことを学んでいるかもしれませんが、1週間を通して福音を学び、それに従って生活する必要があります。霊的な学びを、トレーニングだと考えてみましょう。一週に1度だけ行うよりも、数回行った方がより大きな成果を得ることができます。同様に、家庭における聖文学習の度合いに応じて、洞察や霊的な理解を自分自身の生活に、また学んだことを分かち合うことによって周りの人々の生活に、祝福としてもたらすことができます。

教師:

毎週日曜日に、ただ良いレッスンを教えるだけでは十分でないかもしれません。個人や家族の聖文学習を勧めることも、教師としての目標の一つであるべきです。クラスに参加している人々は、今週どのような聖文学習の経験があったでしょうか。どのような経験を分かち合えるでしょうか。自分の役割を合唱団の指揮者のようだと考えると分かりやすいかもしれません。歌い方を教えて、すべての人の歌声を引き出し、一つの美しいハーモニーにまとめ上げるのです。レッスンをし、話し合いを指示し、自分のすべての知識を分かち合ったとしても、クラスの参加者が自らの考えや靈感を分かち合わなければ、霊を鼓舞する音楽を奏でることはできないのです。

原則その2:

主は、教義的な理解に基づいた
学びと成長を望まれている

学習者:

聖文を学習するときに、神についてもっと知る助けとなり、自分が抱える問題に対処する方法をよりよく理解する助けとなる福音の真理、つまり「教義」を見つけることができます。福音の真理には、直接記されているものもあれば、暗示されているものもあることに気がつくでしょう。真理の探求を、埋められている宝を探すように捉えるとよいでしょう。真理を見つけるのに、少し掘り下げる必要があるかもしれませんが、最終的には「人も神も願い求む宝」¹を得るのです。

教師:

教師には司会役やまとめ役以上の働きが求められます—教師には教義を教え、証をし、導き、そして靈感を与える義務があるのです。研究し、深く考え、そして祈ることによって教える準備をするときに、参加者がいっそう理解し、靈感を受けた教義に基づいて行動できるように助ける備えをすることができます。末日聖徒イエス・キリスト教会における教師としての自分の役割に自信を持ってください。努力を積み重ねることで、さらに救い主のように教えることができるようになります。





原則その3:

個人の啓示は、
教会における福音の学びと
教えの中心である

学習者:

ラッセル・M・ネルソン大管長は先日、教会の会員に「個人の啓示を受ける皆さんの現在の霊的な能力をさらに伸ばすように」² 勧めました。神の言葉を研究するときに、わたしたちは自分が啓示を受けたいと望んでいることを神に示します。個人の啓示はよく、主が預言者にすでに与えられた啓示を研究しているときに与えられます。信仰箇条の第9条を言い換えてみましょう—神が「これまでに啓示された」すべてのことを研究するときに、「神が今啓示される」すべてのことと、「神がこの後啓示される」すべてのことを受ける備えをしているのです。

啓示を受けるときに、受けた印象を記録して、それを行動に移す習慣をつけましょう。そうすることで、主から学んだことを大切にしていることを主に示すことができます。さらに、学んだことから自分が変わるためには、それを実践する必要があります。³

教師:

クラスで何を教えるべきかについての啓示は様々な方法で受けられます。自分で聖文を研究しているときに受けるかもしれません。あるいは、家庭用または教会のクラス用の『わたしに従ってきなさい』のリソースに目を通して受けるかもしれません。靈感を受けたらそれを記録して、感じた印象に従って行動してください。

レッスンで何をするか計画を立てた後でも、教えている人々の必要を満たすためにレッスンの最中に受ける靈感に従うことを恐れなくてください。

原則その4:

新しい資料はリソースであり、
教える内容そのもの(ソース)
ではない

学習者:

神の言葉が霊的な知識と力の源(ソース)です。『わたしに従ってきなさい—個人と家庭用』は、あなたが個人、または家族と行う聖文研究をサポートするためのリソースです。新約聖書を学ぶうえでの手引きや参考資料として使ってください。あなたが親であれば、霊的に鼓舞される家庭の夕べを計画したり、家族と一緒に聖典を学ぶのを助けるために使うことができます。独身成人であれば、グループで集まって聖典を学ぶために使うことができます。神の言葉を学び、それを実践することから得られる力を、あなたや家族が引き出すことができるようにあらゆる方法でリソースを活用してください。

教師:

レッスンの参加者は自宅で学習するときに靈感あふれる経験をしているということを覚えていてください。毎回のレッスンで時間を取り、彼らが何を学んでいるのか聞いてみましょう。日曜学校用と初等協会用の『わたしに従ってきなさい』のリソースには、教える人々が活発に参加し学ぶことができる環境を築くうえで助けとなる活動が載っています。しかし、手引きの内容に縛られないようにしてください。レッスン参加者の信仰や理解を深め、証を強めることができます。参加者の中に、自分の考えや意見を述べることを好まない人がいても心配しないでください。参加し、神の言葉を聞きたいと望むことで、彼らも信仰を示しているのだということ自ら理解できるよう助けてください。

原則その5:

わたしたち自身の、人々への
ミニスタリングの働きを
改善できる

学習者:

聖典から学ぶ事柄は、皆さん自身が人々へのミニスタリングを行う際に祝福をもたらします。自分の学習において見つけたことを、だれかと分かち合えることに気づくでしょう。特に新約聖書からは、救い主やそのほかの人々が、どれほど力強くミニスタリングの業を行ったのかを示す聖句の例を見つけることができます。主の「わたしに従ってきなさい」(ルカ 18:22) という招きにこたえるに当たり、皆さんが学んだ後で何をやるかということが重要になります。学んだことや感じたことを実行に移すということです。今年、イエス・キリストの生涯について学ぶに当たり、どのようにミニスタリングすればよいのか、またミニスタリングによってどのように周りの人々の生活を祝福することができるのかを主の生涯から学んでください。

教師:

教師は、クラスに参加している人々だけでなく、参加していない人々に対しても仕える責任があります。教師として、クラスにだれが参加して、だれが参加していないかということに気づけるようにしましょう。訪問したり、電話やメールを送ったりして家庭や教会で福音を学ぶように励ますことで、クラスに参加していない人々にもミニスタリングをすることができます。皆さんの影響力は皆さんが思っている以上のもので、人々に愛と関心を示すことで大きな違いをもたらされるのです。

新しい『わたしに従ってきなさい』のカリキュラムに示されている指針に忠実であれば、より効果的にそれを生活の一部とすることができ、神が望まれる方法で生活に変化をもたらされるでしょう。■

注

1. 「真理は何と言えよ」『賛美歌』175番
2. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、95
3. リチャード・G・スコット「霊的な導きを得るために」『リアホナ』2009年11月号、6-9

新しいカリキュラムと関連するリソースは
comefollowme.lds.org から入手できます。

大切なのは椅子ではありません

若い女性の会長だったわたしは、若い女性の活動の前夜にホールに椅子を並べようと教会に着きました。そのときは教会にはだれもいませんでした。わたしは妊娠7か月でしたが、独りでほとんどの椅子を並べなければなりません。間もなく、書記と顧問の姉妹がやって来て、並び終えるのを助けてくれました。それから、わたしたちは飾り付けを始めました。

その時です。一人の女性がドアから顔をのぞかせて言いました。「ごめんなさい。今晚、この部屋は扶助協会がヨガ教室のために予約しているの。」

わたしたちは、別の部屋を使ってもらえないかと頼みましたが、空いている部屋はありません。わたしたちにできるのは、椅子を片付けることだけでした。その晩、わたしは朝にはまた椅子を並べなければならないのかと思いながら、うんざりした気持ちで帰宅しました。

生活の中では、このように感じることもあるものです。生まれたばかりの赤ちゃんと4人の小さな子供たちを抱え、わたしは一日中くるくると動き回り、次の日にも同じことをするために目覚めるのです。どんなときも、おなかをすかせた子供たちがいて、片付けを待つ山積みになった洋服、おもちゃ、汚れた皿があります。つまり、わたしは椅子を並べて、それを片付けているのです。それがわたしの生活です。

でも、大切なのは椅子でしょうか。若い女性の活動の後に椅子を片付けながら、心から愛する明るくてすばらしい少女たちについて考えると、わたしはほほえまずにはいられませんでした。一緒に時間を過ごせたことに感謝しました。

家でも同じです。ソファーに付いたピーナッツバターや絶対に両方そろわないように思える靴下が大切なわけではありません。喜びでわたしの心を満たしてくれる家族が大切なのです。

主はこのように言われました。「それゆえ、善を行うことに疲れ果ててはならない。あなたがたは一つの大きな業の基を据えつつあるからである。そして、小さなことから大きなことが生じるのである。」(教義と聖約 64:33)

小さなことがわたしにとってとても大きな意味を持つようになっていきます。抱きしめること、でたらめな歌、クレヨンで描いた絵、スキップしながら郵便物を取りに行くこと、わたしのために作ってくれた焦げたトーストを食べることがそうです。

わたしたちは、椅子を並べてまた片付けるというような、平凡な事柄を毎日行っています。しかし、大切なのは椅子ではありません。それに座る人をわたしたちが愛しているということが大切なのです。大切なのは目の前の作業ではなく、わたしたちの仕える人々なのです。彼らのことを思い、どれほど彼らを愛しているかを考えると、わたしは人生のすばらしさと次の日が来ることを主に感謝します。そして朝起きると、喜んで再び椅子を並べるのです。■

ジャンネッサ・オーギル (アメリカ合衆国、アイオワ州)

わたしたちは、椅子を並べてまた片付けるというような、平凡な事柄を毎日行っています。でも、大切なのは椅子でしょうか。



君はお兄さんにまた会えると思うかい？

それは夜遅く、ただ一人でレジの番をしていたときの事です。スーパーにはわたし以外にだれもいませんでした。レジのカウンターを拭きながら、ふとハミングが漏れました。

ハミングはすぐに歌になり、わたしは「恐れず来たれ、聖徒」を歌い始めました（『賛美歌』17番）。普段、自分から好んで賛美歌を歌うことはないのですが、だれかが視界に入ってくるまで熱意を込めて歌っていました。

年配の男性がレジに近づいて来ました。「その歌を知っているよ。君はどうして知っているんだい？」と彼は言いました。

「通っている教会で歌う賛美歌なんです」とわたしは答えました。

「君はモルモンかい？」

わたしはそうだと答えました。

彼は、妻が末日聖徒だったが、2011年にがんで亡くなり、葬儀で「恐れず来たれ、聖徒」が歌われたと話してくれました。わたしはお悔やみの言葉を述べて、自分も兄が2011年にチリで伝道中に亡くなったことを伝えました。兄の葬儀でもこの賛美歌を歌ったのです。わたしたちはこの「偶然」に驚き、御霊が心に触れるのを感じました。

彼はこう尋ねました。「君はお兄さんにまた会えると思うかい？」

同じ質問を、わたしは数え切れないくらい自問してきました。兄が亡くなってからのつらい数か月間は、疑念に悩みました。それでも最終的には、家族は永遠であるというすばらしい知識を天の御父が授けてく

ださいました。今でも疑問に思うことはありますが、わたしはその男性の目を見詰めて「はい、思います」と力強く答えました。

「強い信仰を持っているんだね」と彼は言いました。「妻はよく、『完全な希望の輝き』を持たなければ、と言っていたんだ。」わたしは同意し、ニーファイ第二書第31章20節の残りを引用して、わたしたちは神とすべての人を愛して、キリストの言葉をよく味わいながら力強く進み、最後まで堪え忍ぶ必要があることを伝えました。

「それだよ！」彼は目に涙を浮かべて言いました。「妻もきっとそう言うはずだ。どうして分かるんだい。」

わたしはそれがモルモン書に書かれていることを伝えました。どうしたらモルモン書が手に入るか聞かれたので、インターネット上で読む方法を教えました。彼はわたしの手を握り、わたしの名前を呼んで感謝を告げて去って行きました。

信仰を持つとは、たとえすべての答えが分からなくても神を信頼するということです。その男性の質問に答えるように導かれたとき、自分がよく知っている真理への信仰に頼ることができて感謝しています。わたしの信仰は完全ではありませんでしたが、主の目には十分であったことを知っています。■

ウェンディー・ジェニングス（リア・パートンに語った話）
（アメリカ合衆国、ユタ州）



普段、自分から好んで賛美歌を歌うことはないのですが、だれかが視界に入ってくるまで熱意を込めて歌っていました。



教会に出席しなくなって
1年ほどたったある夜、
夢を見ました。

明日、教会に行くよ

妻のマデレインと一緒にバプテスマと確認を受けてから2年後、わたしはあまり活発でなくなり、教会に行かなくなりました。日曜日の朝ごとに妻はわたしに声をかけ、起きて一緒に教会へ行こうと誘ってくれるのですが、わたしはいつも断っていました。

「疲れているんだ。寝かせてくれ」と頼むのです。そして後で起きて、サッカーをしに出かけるのです。

マデレインは一人で起きると、息子のルーカスと一緒に教会へ向かいます。雨が降っても、寒くても、必ず教会へ行きました。

思い返せば、サタンがわたしをそそのかしていたのだと思います。教会がなくても自分は大丈夫だと思い込まされていました。サタンはこうささやくのです。「君はいい人だ。心も穏やかだし、何の不自由もない。」ですが、実際のところ、わたしは祝福と、成長と、そして喜びを失っていたの

です。ありがたいことに、妻と天の御父のおかげで物事がはっきりと見えるようになりました。

教会に出席しなくなって1年ほどたったある金曜日の夜、夢を見ました。美しい田舎を、妻と息子と手をつないで歩いている夢です。わたしたちはとても幸せでした。

でも、だんだんと周りが暗くなってきたのです。あまりに暗くなり、何も見えなくなりました。突然、二人と手をつないでいな

いことに気がつきました。戻って来てほしくて、二人の名前を呼びました。二人を取り戻したかったので、暗闇がなくなればいいのにと思いました。

そのとき、ほんとうに惨めな状態とはどのようなものか、つくづく分かりました。マデレインとルーカスを失ったのです。二人はわたしを独り暗闇の中に残して、先に行ってしまったのです。

翌朝目覚めると、わたしは天の御父がしるしを与えてくださったことに気がつきました。教会に戻り、妻と息子を連れて神殿に行って結び固められなければ、二人を失ってしまうのです。次の世でこの二人と暮らすことができなくなるのです。きっと途方に暮れて、惨めな思いをすることでしょう。

わたしはマデレインに言いました。「明日、教会に行くよ。」

それからは、日曜日の朝に必ず家族と教会に行くようになりました。5年前にあの夢を見てから、集会には一度も欠席したことがありません。そして2016年9月、ついにわたしたち家族は神殿で結び固められました。

与えられたすべての祝福に感謝しています。特に家族、そして妻の勇気と、強さと、模範に感謝しています。妻と天の御父がわたしのことを決して諦めないでくれたことを、ほんとうに感謝します。妻と天の御父のおかげで、今のわたしがあるのです。■
ハルミン・トレド・ゴンザレス(チリ, チロエ)

運転で学んだこと

とあるよく晴れた日曜日の午後、わたしはヤングアダルトの集会から車で帰宅する途中でした。その日聞いた、神の子供としての潜在能力を引き出すというメッセージについて考えていたわたしは、とてもくつろいだ、のんびりとした気分でした。どうすれば自分の中にある能力を引き出していくことができるだろうかと、自分に問いかけました。

自宅までは狭い対面交通の道路です。対向車線は車が長い列を成していましたが、わたしの後ろには車が1台もありませんでした。すると突然、車のクラクションがけたたましく鳴り響きました。見ると、いつの間にか後ろに車が迫っていました。運転手はヘッドライトをつけたり消したりして、わたしにどけと叫んでいました。スピードを上げたかったのでしょうか。

この人は忍耐と他人への敬意を学ぶべきだと思ったので、わたしは速度を落としました。通りを幾つも過ぎる間、その人はクラクションを鳴らし続け、ヘッドライトの点滅を繰り返しました。しばらくすると、その車はわき道に入って止まりました。速度を上げられなかったことをどう受け取っているか確認するため、わたしはバックミラーを見ました。懲らしめることができ、ちょっと気分が良くなっていたのです。

その運転手は慌てて車から飛び出す

と、助手席のドアを開けました。すると、赤ちゃんを抱えた女性が素早く車から降りました。二人がどこに向かっているのか確認すると、遠くに「救命センター」というサインが光っているのが見えました。

「何てことをしてしまったんだ。」わたしは自分を責めました。自宅に帰ると、ひざまずき、目に涙をためながら神に赦しを請いました。

周りの人の行動の裏には、見えない動機や理解できない動機があるかもしれないということを、わたしはその日学びました。今は、おかしいと思うような行動を取る人がいても、その人がどのような経験をしているかわたしが理解していないだけなのだ考えるようにしています。イエス・キリストが命じておられるように愛と思いやりを示そうと努めていますし、周りの人たちを理解して助けるよう心掛けています。

神の子供として、どうすれば自分の潜在能力を引き出すことができるのでしょうか。愛と理解をもって、ほかの人の行動に対応しなければなりません。そうすることで、わたしは生活で救い主の愛をよりいっそう感じられるようになりましたし、周りの人にもわたしの愛を感じてもらうことができます。■

フリオ・メーサ・ミッチェル
(メキシコ, チワワ州)

とてもくつろいだ、のんびりとした気分で帰り道を運転していました。すると突然、車のクラクションがけたたましく鳴り響きました。





神の娘 を 神権の力 に結びつける

ブリガム・ヤング大学教会歴史・教義学准教授
バーバラ・モーガン・ガードナー

わ

わたしは神権と、神権に関連して女性が受ける祝福を理解することの大切さを、かつてないほど強く認識するようになりました。わたしたちは、平等や権力、公平であることや、寛容さがしばしばほかの徳よりもてはやされる時代に生きています。それに加えて、個性や権威、霊性、さらには神というテーマまでもが多くの人にひどく誤解されています。

多くの女性は、どんな祝福を自分が受けられるのかを知らないために、受けられるはずの霊的な養いの機会に十分にあずかっていません。この点について誤解している男性もたくさんいます。

女性と神権との関係をもっとよく理解し、女性たちが「前に踏み出〔して〕これまで以上に、家庭、地域

社会、神の王国において……本来果たすべき役割を果た〔す〕ことができるようにするには、どうしたらよいでしょうか。¹ まず、神権に関する真理を理解するよう謙虚に努力しましょう。特に、最も最近与えられた教会の指導者の教えから学びます。第2に、神の神権の力が使えることを十分に分かっていない女性がいる理由を理解できるように努めることができます。第3に、神が神権の

女性は、
神が神権の力で
成し遂げられる業に
不可欠な
働き手です。

力によって成し遂げられる業に女性がさらに十分に携われるようにする方法を、理解することができます。

1. 女性と神権について 明らかにされている 真理

使徒と中央補助組織の女性指導者は最近、女性と神権の関係をこれまで以上に強調するようになっていきます。以下に挙げるのは、正しく理解して教えるべき重要な真理です。

神権は 神の力と 権能である

神権は、「人の不死不滅と永遠の命」をもたらすという神の偉大な救いの業を成し遂げるための力です（モーセ1：39）。男性も女性も、神の業において重要な役割を担っており、男性も女性も、神の力を使って神の業を成し遂げることができます。

女性は 救いの業で公であり、 かつ重要な役割を果たす

前中央若い女性会長会会長のボニー・L・オスカーソン姉妹はこう宣言しています。「女性は皆、自分が神権の業に不可欠な役割を担っていることを知る必要があります。教会の女性は会長、顧問、教師、評議会の一員、姉妹、母親です。わたしたちが立ち上がり、信仰をもって務めを果たさなければ、神の王国は立ち行かなくなってしまう。」²

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008年）はこう教えています。「神はこの教会の女性に、神の王国を築くうえでなすべき業を与えられました。それは、責任の3本の柱のすべてにかかわっています。責任の3本の柱とは、第1に世界に福音を宣べ伝えること、第2に教会員の信仰を強め幸福を築くこと、第3に死者の救いの偉大な業を推し進めることです。

教会の女性は兄弟たちと協力して、主の大いなる業を推し進めています。……主の計画の下で女性は重要な責任を担い、その責任を果たす義務を負い、任された組織を指導します。しかもその組織は強固で活気にあふれ、世の中をよくするために際立った力を発揮します。女性は神権者と同じ責任を担っています。地上に神の王国を築くために、すべての人が力を合わせて働くのです。わたしたちは女性の能力を尊重し、女性が指導力と強さを発揮し、任された組織の管理運営を通してすばらしい結果をもたらすように期待しています。……わたしたちは女性の皆さんを神の娘として支持し、支援します。神のすべての息子娘の不死不滅と永遠の命をもたらす神の業においてともに働きます。」³

男性も女性も、 神権の鍵を持つ人から 力と権能を 委任される

神権の鍵とは、「地上における神権の行使について指示を与え、支配し、統治するために神が神権〔者〕に与えられた権能で〔す〕。」⁴ 大管長会第一顧問のダリン・H・オークス管長はこう説明しています。「教会で執り行われるすべての行為や儀式は、その職務に関する鍵を持っている人の直接的あるいは間接的な承認の下で行われます。」⁵

女性は、男性と同様に、神権の鍵を持つ人の指示の下で召しを果たす権能を持ちます。十二使徒定員会会長代理のM・ラッセル・バラード会長はこう述べています。「神権の鍵を持つ人は、……文字どおり、その指示の下に忠実に働き奉仕するすべての人が、神権の権能を行使し、神権の力を使うことができるようにするのです。」⁶

オークス管長はこう言っています。「わたしたちは普通、教会の召しにおいて女性は神権の権能を持っているとは言いません。では、それは何の権能と言えるでしょうか。女性は若くても年を取っていても、専任宣教師として福音を宣べ伝えるように任命されるとき、神権の働きをなす神権の権能を与えられるのです。女性が神権の鍵を持っている人の指示の下で教会の組織の中で役員や教師として務めを果たすように任命されるときも同様です。」⁷

この概念を生徒に教えるとき、わたしはよくこう質問します。「若い男性会長会と若い女性会長会の合同集会をステーキで開くとしたら、

管理者はだれになりますか。」ステーキ若い男性会長もステーキ若い女性会長も、神権の鍵を持つ人（ステーキ会長）から召されて任命されているため、この召しにおいては両者とも同じ神権の権能を持っています。したがって、どちらがどちらを管理するという関係にはありません。司会は交代で行うのがよいでしょう。

主は神権によって 男女を等しく 祝福してくださる

主が神権によって与えてくださる多くの祝福は、神聖な聖約を交わして守るすべての会員にもたらされます。バラード会長はこう教えています。「主と神聖な聖約を交わし、その聖約を尊ぶ人は皆、個人の啓示と天使の働きと祝福を受け、神と親しく交わり、完全な福音を受け、そして最終的には、イエス・キリストとともに御父の持つておられるすべての相続人となるのです。」⁸

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長（1876 - 1972年）はこう教えています。「神権の祝福〔は〕男性に限定されてい〔ません。〕これらの祝福は、……教会のすべての忠実な女性にも注がれています。……主は、御自身の息子たちが手にすることのできるあらゆる霊的な賜物と祝福を娘たちにも用意しておられます。」⁹

そして、御父の業を成し遂げるならば、女性も「神の相続人であって、……キリストと共同の相続人」となるという祝福にあずかるのです（ローマ 8：17。16節も参照）。

姉妹宣教師は任命され、
神権の働きをなす
神権の権能を与えられる
一つの例です。

神殿では男女双方 （独身者も既婚者も）に 神権の力が 与えられる

1833年に主は、聖徒は男性も女性も「高い所から力を」授かると、ジョセフ・スミスに約束されました（教義と聖約 95：8）。バラード会長ははっきりとこう説明しています。「エンダウメントとは、文字どおり力の賜物です。主の宮に参入する人は皆、神権の儀式を行います。これは男性と女性に等しく当てはまります。」¹⁰ 自身のエンダウメントを受け、神殿で交わした聖約を守っているふさわしい会員はすべて、神権の力を持っています。したがって女性は、既婚者も独身者も、神権者がいるかどうかにかかわらず、自分の家庭で神権がもたらす力を享受することができます。

中央扶助協会会長会の元顧問のシェリー・デュエ姉妹は、こう問いかけました。「神権がもたらす力を享受するとはどういう意味ですか。それは、啓示を受けられるということであり、天使の働きによって祝福と助けを受けることであり、天の御父から自分を隔てている幕を開く方法を学ぶことであり、誘惑に立ち向かう力を得ることであり、守られ、啓発されることであ

り、今よりも賢くしてもらうことです。これらをすべて、この世的なものを介さずに行います。」¹¹ この力がもたらすもののうち最も大切なものは何でしょうか。また、どうすればそれが受けられるのでしょうか。主のような者になる力を含む「神性の力」は神権の儀式によって現れると、主は啓示されました（教義と聖約 84：20 参照）

神権の権能は、 教会では家庭と違う 働き方をすることがある

教会の組織が職制であるのに対して、家庭は族長制です。「神権の権能が果たす役割は、家庭と教会において……幾つかの異なった点」があると、オークス管長は教えています。¹² 神の計画によって、夫と妻は幾つかの異なる責任を持つかもしれませんが、二人は「対等のパートナー」として協力し合います¹³。十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老（1922 - 2015年）は、こう教えています。「兄弟の皆さん、家族の指導者として役割を果たすとき、妻が同僚であることを忘れないでください。……神は時の初めから、男女は結婚によって結び合い、一体となるよう人類に命じてこられました。したがって、家族には



会長も副会長もいません。夫婦は家族のために永遠に協力するのです。夫婦は家族を導くときに、言葉にも行いにも一致していなければなりません。歩調を合わせて歩むのです。夫婦は一致協力して家族の事柄を計画し、準備し、進んでいきます。」¹⁴

伴侶が亡くなったらどうなるのでしょうか。オークス管長はこう教えています。「父が亡くなってからは、母が家庭を管理しました。母には神権の職はありませんでしたが、残されたもう一人の親として、家庭の管理者となりました。同時に、母はいつでも、ビショップをはじめ教会の指導者が持つ神権の権能に敬意を抱いていました。母は家庭を管理しましたが、彼らは教会を管理しました。」¹⁵



2. つまずきの石

女性が神の神権がもたらす力を享受できることを十分に理解していないのは、どんなつまずきの石があるからでしょうか。

神権について 男女双方にある 誤解

オークス管長はこう教えています。「メルキゼデク神権は、地位や称号ではありません。神の子のための神の業を推し進めるために行使するよう委託された神聖な力です。わたしたちは、神権を持つ男性が『神権』そのものではないことを常に覚えておかなければなりません。『神権〔神権者のことを指し〕と女性』という言い方も適切ではありません。『神権者と女性』と言うべきです。」¹⁶

善意からであっても、「では、神権コーラスです」とか、「神権ボランティアの方々に若い女性のキャンプに行ってもらいたい」などと言うのは、誤解を招き、

誤った見方を定着させ、神の力を軽視することになりますから、自分にとってもほかの人にとっても有害です。

神権は 女性には関係がないと 考えること

神権について研究するよう姉妹に勧めると、次のような答えが返ってくる場合があります。「それについてはいいです。わたしには関係ないので。」しかし、神権は神のすべての子供を祝福するのですから、神権についてもっとよく分かるようになれば、皆が恩恵を受けます。神権についてもっとよく理解すれば、わたしたち全員が恩恵を受けるのです。神権に関する真理について教会の女性と男性が同じようによく理解して教えるようになれば、教会と自分の家族にどんな祝福があるか、考えてみてください。

前中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン姉妹は、男性と同様に女性も神



権というテーマについて研究する必要があるということ強調しています。「姉妹の皆さん、自分で理解して知っていなければ、わたしたちは立ち上がってこれについて教えることができません。」¹⁷

現実には存在しない制限を女性に設けること

教会における召しの中には神権の職への聖任を要するものがあることは明らかです。しかし、単に文化や経歴、誤った認識、伝統を根拠にして女性に制限を設けないよう注意しなければなりません。例えば、女性は有能な指導者や教師になることができますし、教会の評議会でも重要な発言をすることもできます。また、あらゆる年代の会員にとって主の弟子として生きるすばらしい模範になることもできます。

3. 自分にできること

神が神権の力で成し遂げられる業に教会の姉妹たちがさらによく携われるようにする方法で、だれにでもできるものが幾つかあります。

中央幹部と教会の女性指導者たちが最近語った言葉を知る

ここ数年、十二使徒定員会の先任会員たちは、教会における女性の役割について具体的に話しています。その話に注意深く耳を傾けていますか。

例えば、ラッセル・M・ネルソン大管長は、2015年に声を大にしてこう言いました。「神聖な聖約を交わし、それを守る女性、神の力と権能をもって語ることでできる女性がいなければ、神の王国は完全ではありませんし、そうなれないのです。」¹⁸

神権の業における女性特有の役割をすべての会員が理解できるようにする

バラード会長は、姉妹たちの「影響を与えることのできる領域は独特であり、男性は同じことができません」と、扶助協会の姉妹たちに指摘しています。「神の娘である皆さん以上に強い説得力や力をもって救い主を擁護できる人はほかにいません。皆さんは、そのような強さと確信を内に秘めています。改心した女

性の声の持つ力は計り知れず、今、教会はこれまで以上に皆さんの声を必要としているのです。」¹⁹ ボニー・L・オスカーソン姉妹は、こう力説しています。「教会の若い女性は、自分は単なる傍観者や支持者だと思うのではなく、神権によって導かれる救いの業の重要な働き手であると自覚する必要があります。」²⁰

女性指導者を信頼する

当然のことながら、わたしたちは預言者、聖見者、啓示者として支持している人たちの言うことには大いに注意を払います。王国の鍵を持つ人たちであり、彼らを通して主が御業を進められるからです。彼らの教えに加えて、教会の女性の指導者も任命されており、教会の男性と女性の両方に向けて話をする神権の権能を与えられています。わたしたちは彼女たちの教えにも耳を傾け、彼女たちを通して神が与えてくださる勧告も、聞かなければなりません。



形だけでなく発言者として 女性を評議会の 一員にする

バラード会長はこう言っています。「姉妹の指導者を十分に尊重せず、参画させない神権指導者は、自分に与えられている鍵を尊んでおらず、大いなるものとしていないのです。主の方法を学ぶまで、その人の力と影響力は弱められるでしょう。」²¹

主御自身が 答えておられない質問に、 「権威あるかのような」 答えを与えない

オークス管長は、主が答えておられない質問には答えないようにと教会員に警告しています。「過去に犯した過ちを繰り返してはなりません。啓示に自分の解釈を付けようとする過ちです。それらの解釈は多くの場合、人間が作り上げたものであるということが後で分かります。啓示は、わたしたちが主の御心として支持するものであり、そこに安全があるのです。」²²

バラード会長は、これについて最適な例を挙げています。「神権の職に聖任されるのは、なぜ男性であって、女性ではないのでしょうか。……主はなぜ現在のように御自分の教会を組織されたのか、その理由を啓示されてはいないのです。」²³ バラード会長は、「信仰を鼓舞する目的はあっても根拠のないうわさ、あるいは教義や慣行に関する一昔前の理解や説明を分かち合わない」とも警告しています。「生ける預言者や使徒の言葉を研究するようにしてください。mormonnewsroom.org や LDS.org を通して現在の問題、方針、声明に関する最新の情報を得るようにしてください。また真実でない、時代遅れの、あるいは奇妙きつな事柄を教えないように、一般的に認められた、思慮深く、忠実な末日聖徒の学者が記したものを参照してください。そうするのがいつも賢明です。」²⁴ 「分かりません」というのが実は最善の答えだという場合もあることを、忘れないでください。信仰の光の中を熱心に

探し求めて神聖な真理を学ばなければなりません。

神権についてさらに よく理解できるように 男性と女性を助ける

神権について研究し学ぶ能力に自信が持てるように男性と女性の両方を助けることが、非常に大切です。その際に役立つ聖句を幾つか挙げます。アルマ 13 章および教義と聖約 2, 13, 20, 76, 84, 95, 107, 110, 121, 124 章です。答えを求めて神殿に参入することの大切さは、いくら強調しても強調し過ぎることはありません。特に、このテーマについて靈感を受けて抱いた疑問の答えを求めて、神殿に参入してください。

十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老 (1915 - 1985 年) は、こう教えています。「この神権の教理は、世の中ではもちろんのこと、教会内でさえあまり知られていないもので、聖典を読むだけでは学ぶことのできないものです。……

神権の教理は、個人の啓示によってのみ分かるものです。それは、心と、勢力と、思いと、力をつくして神を愛し神に仕える人に、教えに教え、訓戒に訓戒を加えて、聖霊の力によって明らかにされるのです (教義と聖約 98 : 12 参照)。」²⁵

4. まとめ

主と預言者を 支持すべきことを 女性に理解してもらう

世の中はますます分断され、悲観的になってきています。女性たちはいろいろな場面で争っています。主張が強く、感情的になっています。すべての教会員がエステルのように「このような時のため」に自分が取っておかれたのだと考えて（エステル4:14）、個人でも集団でも、世に追従するのではなく世の先頭に立つ必要があることを理解することができれば、この世でどんな良い影響を与える者になるだろうかと、想像してみてください。

エマ・スミスは言いました。「わたしたちは素晴らしいことを成し遂げるでしょう。……思いも及ばない状況に陥ったり、出来事に出遭い、緊急を要する働きを求められるでしょう。」²⁶ この緊急の要請、実に嘆願が、ここ数年にわたり、かつてないほど教会の指導者から姉妹のもとに届いています。神権に関連した真理をさらによく理解し、特権に十分にあずからずに生活している女性が多い理由を把握し、女性について知り、神権の業で女性がどんな働き手になるのかを知って、その知識に基づいて行動するならば、わたしたちは「喜びと平安を見いだ[す]」ことでしょう。それは、「[自分が] 教えたことでだれかの人生に良い影響を与え、天の御父の子供の一人が引き上げられて御父のもとへ帰る旅を歩めるようになったことを知[る]」からです。²⁷ ■

- の祝福に関するさらに深い説明は、ブルース・R・マッコンキー「神権につける10の祝福」『聖徒の道』1978年2月号、49-53参照
10. M. Russell Ballard, "Let Us Think Straight" (Brigham Young University devotional, Aug. 20, 2013), 7, speeches.byu.edu.
 11. Sheri Dew, *Women and the Priesthood: What One Mormon Woman Believes* (2013), 125.
 12. ダリン・H・オークス「家庭と教会における神権の権能」『リアホナ』2005年11月号
 13. 「家族—世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号、145
 14. L・トム・ベリー「父親、永遠の召し」『リアホナ』2004年5月号、71
 15. ダリン・H・オークス「家庭と教会における神権の権能」26
 16. ダリン・H・オークス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2018年5月号、65
 17. Linda K. Burton, "Priesthood: 'A Sacred Trust to Be Used for the Benefit of Men, Women, and Children'" (Brigham Young University Women's Conference, May 3, 2013), womensconference.byu.edu/transcripts.
 18. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」96
 19. M・ラッセル・バラード「男性と女性と神権の力」『リアホナ』2014年9月号、37
 20. ボニー・L・オスカーソン「力強く立ち上がれ、シオンの娘たちよ」14
 21. M・ラッセル・バラード「男性と女性と神権の力」35
 22. Dallin H. Oaks, *Life's Lessons Learned: Personal Reflections* (2011), 68-69
 23. M・ラッセル・バラード「男性と女性と神権の力」35
 24. M・ラッセル・バラード「21世紀においてCES教師に与えられている機会と責任」(教会教育システム宗教教育者向けの説教、2016年2月26日) broadcasts.lds.org
 25. ブルース・R・マッコンキー「神権の教理」『聖徒の道』1982年7月号、57参照
 26. エマ・スミスの言葉。『わたしの王国の娘』14で引用
 27. M・ラッセル・バラード「21世紀においてCES教師に与えられている機会と責任」

注

1. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」『リアホナ』2015年11月号、97
2. ボニー・L・オスカーソン「力強く立ち上がれ、シオンの娘たちよ」『リアホナ』2016年11月号、14
3. 『歴代大管長の教え——ゴードン・B・ヒンクレー』96-97
4. 『手引き 第2部—教会の管理運営』2.1.1
5. ダリン・H・オークス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年5月号、49
6. M・ラッセル・バラード「主の業における男性と女性」『リアホナ』2014年4月号、48。『わたしの王国の娘—扶助協会の歴史と業』138も参照
7. ダリン・H・オークス「神権の鍵と権能」51
8. M・ラッセル・バラード「主の業における男性と女性」49
9. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・フィールディング・スミス』149 神権



深い理解を切に求めて

あるとき、わたしは同じワードの女の子と初めてデートしました。翌朝、ワードの神殿訪問に行くと、来たのはその女の子とわたしだけでした。多くの奉仕者を必要とする儀式なら何でも手伝うと申し出ると、それは結び固めだということが分かりました。

わたしはとても緊張していましたが、驚いたことに、初めてデートしてから12時間もたっていない女の子と一緒に身代わりの結び固めをするのは、思ったほど気まずいものではありませんでした。とにかく、その経験からわたしは、結び固めを含めて、**神殿活動のどの要素も大切だ**ということが、よく分かるようになりました(続きはデジタル版の記事をご覧ください)。

わたしたちの状況は一人一人異なりますが、神殿で交わす**聖約をさらによく理解しようと努める**ならば、神殿の儀式は、済んだらリストから消していく霊的なチェック項目というよりは、ほんとうに必要なもの、つまり、**霊的な力を与えてくれる「生ける水」の源**となることでしょう(教義と聖約63:23参照)。そして、わたしたちの暮らす慌ただしい世の中においては、神殿で得られるすべての力が必要なのです。

今月号では、**神殿に関する経験をヤングアダルトが分かち合います**。ケアロヒラニは、神殿ガーメントをきちんと着用することによって人生がいかに祝福されたかを述べています(44ページ参照)。デジタル版のみの記事では、神殿に参入するのにふさわしくないと

ときの恐れについて、セライアが伝えます。初めての神殿参入の準備をしている人の助けになるように、Q&Aコーナーを設けました(オンラインのみ)。神殿で交わした聖約をもっとよく理解するため、再び神殿に参入したことについて、マヘーシュが語ります(48ページ参照)。

わたしが**自分の霊の貯水池をいっぱいにする**ためにできるかぎり頻繁に神殿に行こうと努力しているのは確かですが、いちばん大切なのは、神殿の壁の内側でも外でも**神殿で受ける御霊によって自分が教えられ、**

変わるようにすることです。そうすれば、交わした聖約を通して神殿から注がれる「生ける水」によって、日々乾きが癒されるようになります。

がんばってください!

Alex Hsieh

アレックス・ヒューイ

ベストアドバイス

神殿を生活の一部にすることについてこれまで受けた中でいちばん良かったアドバイスを、ヤングアダルトが紹介します。

「神殿で経験する神聖さは本人の望みに見合ったものになるとビショップから言われました。神殿から自分の生活にどれくらい大きな影響を受けられるかは、いつも自分にかかっているのです。」

—— **ジャスミン・ナイ**
(アメリカ合衆国, ユタ州)

「神殿が近くにあるのは素晴らしいことですが、会員がまったく参入しないのであれば、神殿はいつもはるか遠くにあることとなります。神殿がどんなに遠くにあっても、わたしたちは常に神殿に近い生活をしなければなりません。」

—— **コール・マーフィー**
(アメリカ合衆国, カリフォルニア州)

「目的を持ってください。疑問を携えて行くとか、先祖の儀式をすとか、平安を求めるとか、聖霊の促しに耳を傾けるといった目的です。」

—— **シンディー・オートン**
(アメリカ合衆国, ユタ州)

失敗してやり直すことに関して、受けた中でいちばん良かったのは、どんなアドバイスをですか。そのアドバイスを **liahona.lds.org** にお寄せください。締め切りは2019年3月31日です。

あなたの経験談を 分かち合ってください

分かち合いたい素晴らしい話がありますか？あるいは、読みたい特定のテーマがありますか？もしもあったら、ぜひお聞かせください！あなたの記事やご意見、ご感想を、**liahona.lds.org** までお寄せください。

ヤングアダルト向けの記事の 筆者について

ケアロヒラニ・ウォーレスは、自分の人生と信念を基にした、クリーンな、主流派のヤングアダルト向けフィクションを書いています。プリガム・ヤング大学ハワイ校の卒業生で、YSAワードに活発に集う会員です。



マヘーシュ・クマール・ベデュルパーカーは、インドのアンドラプラデシュ出身で、夫であり、二人のかわいい子供たちの父親でもあります。コンピューターサイエンス工学の学士号を持っており、上級ソフトウェア開発者として働いています。家族で出かけたり、新しいテクノロジーを学んだり、料理をしたりするのが好きです。



ゼライア・インニスはバルバドス出身です。21歳で、5人きょうだいのいちばん上です。教会員の家庭で生まれ育ちました。文章を書くことと楽器を演奏することが好きです。



アレックス・ヒューイは、アメリカ合衆国オレゴン州出身です。プリガム・ヤング大学を卒業し、国文学の学士号を持っています。特にヤングアダルト向けの文学作品の研究に興味があり、コミカルな短い話や小説を書くのが好きです。また、飲み物は牛乳が好きです。



今月号の内容

44 聖約に守られて
ケアロヒラニ・ウォーレス

48 聖なる神殿を
再び眺める
マヘーシュ・クマール・ベデュルパーカー



デジタルのみ

神殿エンダウメント Q&A

神殿に参入するふさわしさは十分ですか
ゼライア・インニス

独身者が神殿の結び固めに
参加するべき5つの理由
アレックス・ヒューイ



以上の記事は、そのほかの記事とともに、以下のサイトでご覧いただけます。

- liahona.lds.org
- **YA ウィークリー** (福音ライブラリ「ヤングアダルト」の項)
- facebook.com/liahona



神殿ガーメントを
忠実に着用する人々に
約束されている
力と守りは、
魔法から得られる
ものではなく、
神から与えられる
ものです。

聖約に守られて

ケアロヒラニ・ウォレス

わたしが神殿ガーメントを着用することをどれほど愛しているかは、言葉では十分表せません。ガーメントの物質的な素材は軽量で、慣れてしまえばあまり気になりませんが、ガーメントが象徴しているもの、すなわちガーメントに伴う祝福について考え、ガーメントが神への献身と神に対する愛を絶え間なく表しているということを考えることによって、ガーメントを日々着用することが、美しく、霊的な経験となります。それは平安であり、強さであり、心の静けさ、力、あるいは聖さです。ガーメントの扱い方に応じて生活に祝福がもたらされます。

ガーメントを単なる下着と見なしたり、自分が着用できるかどうかを判断する際に用いる慎重さを測る基準、つまり一定の標準に沿っているかそうでないかを分ける気まぐれな線と見なす人がいます。確かに、ガーメントを身に着けることは慎重さを促しますが（特に、世の標準と対比する場合）、聖なる神権のガーメントは、それ以上のことを表しています。

力強い永遠の視点

わたしは、19歳のときに神殿結婚の備えとして自身のエンダウメントを受けました。不運な状況のためにその結婚は終わりを迎えたものの、わたしは自分が主と交わした聖約に対して忠実であり続け、それらの聖約を

保ってきました。聖約を決して手放すことはなく、聖約はわたしを支えてくれました。試練のさなかにあってもほうっておかれることはなく、聖約のおかげで強くされました。

継続して神殿推薦状を保持し、指示されたとおりにガーメントを適切に着用していたため、そして神殿で交わした聖約を守っていたので、多くの祝福を受けました。この従順からもたらされた祝福を一つ一つ挙げることは不可能ですが、わたしが気づいた最も明らかな祝福は、天の視点を維持できることと、周りの人々が正しい選択をしないうちや、人の選択により自分が傷つくときでさえ、正しい選択をすることを常に思い起こさせてくれる物があったということです。

人生のこの11年の間に、うまくいかないことが幾つもありました（どんだの経験としては、離婚や財政的な苦難、満足できない仕事、挫折などがあります）が、一貫してガーメントを身に着け、定期的に神殿に参入することにより、どれほど困難で、どれほど心に傷を負っていても、その時々を経験していた試練よりもっと大切なことが現世の生活にはあるということを理解する助けとなりました。

この二つのことを一貫して行うことにより





御霊の近くにとどまることができたので、心の促しに従うことを選び、物質的な危険から守られました。また、強い希望と永遠の視点を与えられたので、旅路において、もう一歩踏み出すだけの感情的あるいは肉体的な力がないと感じたときに、暗闇のどん底から導き出してもらえました。この平安は、新たな問題や試練が生じて、引き続きわたしを支えてくれています。

わたしが経験した神殿の祝福は、見過ごしがちな日々の祝福（心の平安や促しなど）から、劇的なものや、永続するもの、あるいは明白なもの（家族に永遠に結び固められるなど）まで、多岐にわたります。人の経験はそれぞれ異なり、個人的なものです。祝福は常に、わたしたちが聖約を守るときに主の完全なタイミングで与えられます（教義と聖約 82：10 参照）。ガーメントの着用は、聖約を覚えていることを主に示すための重要な個人的な方法です。

絶え間ない霊的な守り

十二使徒定員会長のボイド・K・パッカー会長（1924 - 2015 年）は、ガーメントを適切に着用するとき期待できる祝福の一つについてこのように説明しています。



「ガーメントは神聖な聖約を受けたしるしです。また、ガーメントを着る者に慎みを教え、盾となり守りとなります。」¹

この盾は、ニーファイが「敵対する者の……火の矢」と呼んだものからもわたしたちを守ってくれます（1ニーファイ 15：24）。サタンが毎日わたしたちに放っている火の矢の数を数えられるとしたら、天文学的な数字になるでしょう。わたしたちは、わたしたちの信条を果敢に壊そうとする世界に暮らしています。どこにいても不適切な画像や言葉に取り巻かれているうえ、有害な物質を用いるよう、あるいは純潔の律法を破るように仕向ける圧力も受けています。さらに蔓延しているのは、直接、あるいは特にオンラインで、だれかと論争したり不親切にしたりするという圧力と誘惑です。また、自分の意見や信条を表現する人をあざ笑ったりけなしたりするよう、あるいは文法上の過ちのようなささいなことでも人をからかうようにという圧力と誘惑もはびこっています。このような霊的

な攻撃に気を留めるならば、感覚は鈍り、聖霊からの警告を感知する能力は低下します。

サタンがわたしたちに放つ「火の矢」のリストは果てしなく続き、どれも危険なものばかりです。七十人のタニエラ・B・ワコロ長老はこのように述べています。「この世で遭遇する多くの妨げや誘惑は『強欲なおおかみ』のようです。」では、わたしたちはどのように自分を守ればよいでしょうか。同じ説教の中で、ワコロ長老はこのように付け加えています。「皆さんが儀式を受け、関連する聖約を尊ぶことにより、ますます闇が深まる世の中であって驚くべき光と守りがもたらされることを約束します。」²

もし、毎日あなたを目がけて放ってくるサタンの「矢」が、実際に見たり感じたりできる、文字どおりの鋭い物体だとしたら、あなたは盾を家に置いておくのでしょうか。自分を守る方法や避難所への道順についての知識を無視するのでしょうか。聖約はあなたが打ち勝つ助けとなると神が約束してくださってい

るのに、神と聖約を交わしたり、交わした聖約を守ったりするのを先延ばしにするでしょうか。

わたしたちの進歩に及ぼす聖約の力

ガーメントからもたらされる守りは、一部の人が誤って信じ込んでいるように、ガーメントという物体そのものに内在する魔法といった類から得られるものではありません。約束されている守りとは、わたしたちが聖約を守り、日々主への忠実な献身を表すときに主が物質的にも霊的にも与えてくださる守りです。

神殿の聖約とガーメントは、完全な人のためのものではありません。より良い人となるために最善を尽くそうと努める不完全な人々の盾となり、守りとなるためのものです。過ちを犯したときに悔い改めて前進し続ける人々、つまり皆さんやわたしのような人々を守るためのものです。

バプテスマの聖約を思い出し、それを更新

するために、毎週、形のある物としての聖餐を取るのと同様に、ガーマントを毎日着用することで、神殿で交わした聖約を物質的に思い出すことができます。これらは、わたしたちがさらにキリストに似た者となるための旅路を歩むうえで必要なものです。

神聖な守りである以上に、聖約を守ってガーマントを着用することは、主をどれほど愛しているかを日々神に示す手段であり、主を愛しているために主の戒めに従っていることを示す手段、神が授けたいと望んでおられる数多くの祝福を受け取る手段でもあります。神は、わたしたちが理解できる以上にわたしたちを心から愛しておられ、わたしたちが安全であり、約束された守りを得られるよう望んでおられます。

日々祝福を受ける

わたしたちは皆、気づいているかどうかにかかわらず、日々霊的な戦場で戦っています。わたしたちが神殿で交わり、日々守っている聖約は、罪とサタンとの戦いに打ち勝つ助けとなるでしょう。しかし、その備えをするかどうか、また忠実であるかどうかはわたしたち自身にかかっています。

わたしは、神殿に参入するという決意をしたことと、その後、聖約を守るために様々な決意をしたことをうれしく思います。わたしは日々、自分の選択のために祝福を受けています。また、聖約したとおりに適切にガーマントを着用することからも祝福を受けています。ガーマントのおかげで守られていますし、聖約を思い起こすことができます。ガーマントは、この世よりも神を愛していること、また神から命じられたことを行うという意志を神に示すものです。■

著者は、アメリカ合衆国ハワイ州在住です。

注

1. ボイド・K・バックナー, *The Holy Temple*, (1980), 75
2. タニエラ・B・ワコロ「救いの儀式は驚くべき光をもたらす」『リアホナ』2018年5月号, 40, 41

さらに知るために

- 神殿、神殿の備え、神殿儀式について、temples.lds.orgでさらに詳しく学びましょう。
- 神殿ガーマントについて人に説明する際に役立つ、教会制作の動画を視聴するには、mormonnewsroom.org/article/temple-garments (英語のみ) にアクセスしてください。





交わした聖約を
よりよく理解し
忘れないために、
再び神殿に参入する
必要があることに
気づきました。

聖なる神殿に

再び心に向ける

マヘーシュ・クマー・ベドゥルプカ

4年前、インスティテュート教師のサレシュ・ナトラジャン兄弟はクラスの生徒にこう質問しました。「この中で神殿に行ったことがある人は何人いますか。」妻のアナンサとわたしはその1年前に初めて、10時間旅して中国香港神殿に参入していたので、自信を持って手を挙げました。その後、彼はもう一つの質問をしました。「神殿でどのような聖約を交わしたか、覚えていますか。」

思慮に富んだ質問でした。最初の神殿訪問では学ぶべきことが非常にたくさんありましたが、長い時間がたったので、神殿で交わした聖約を忘れてしまったことを思い知らされました。まさにそのとき、もう一度神殿に参入し、今度は自分が交わした聖約と、そのほか自分の救いに必要不可欠なことに注意を払い、記憶にとどめる決意をしました。

時が過ぎ、わたしは過酷な人生の試練に見舞われました。そんなある日、登録していたインスティテュートのクラスで、預言者ヨナについてのレッスンを受けました。主が行う

ように命じられたことをヨナはしませんでした。わたしの目に留まった聖句の一つはヨナ第2章4節でした。「わたしは言った、『わたしはあなたの前から追われてしまった、どうして再びあなたの聖なる宮を望みえようか。』」

この聖文に心を打たれ、わたしはもう一度神殿に参入する機会をわたしと妻に与えてくださるよう天の御父に祈りました。

それから4年たったとき、天の御父は御自身の宮に再び参入できるようにわたしたちを祝福してくださいました。今回は台湾台北神殿でした。

神殿に参入している間に、がんで亡くなった叔父のための代理の儀式を行う機会がありました。叔父のためにバプテスマを受けたとき、この神殿の儀式を通して叔父が受ける祝福について考え、非常にうれしくなりました。そして、わたしが最初に神殿に参入し、少々戸惑っていたときに神殿会長がわたしに語ったことを理解しました。神殿会長はこう言いました。「兄弟、今あなたがやっていることのすべてを理解できないかもしれませんが、あなたがここで素晴らしいことをし



たと感じる日が来るでしょう。」

わたしは答えを受けたのです。2度目に神殿を訪問することによって理解を得るまでに4年かかりました。

今では毎週聖餐を頂いている間、イエス・キリストの贖罪がいかに力強いものであるか、また神殿で交わした聖約がいかに神聖なものであるかを思い出します。

今年わたしと妻が結婚して10年の記念の年です。わたしはそのことを神殿で祝い、先祖のために結び固めの儀式を行いたいと思っています。それを行うために、わたしは本来の仕事のほかに、家族との時間に影響を与えない副業をしています。

わたしが知り感じていることは、神殿の業が真実であるということです。神殿の業に代わるものは何もありません。そして神殿に参入し、わたしたち自身と幕の彼方にいる霊のために天の御父の業を行うためには、どのような犠牲をも払う価値があるのです。■

筆者はインド、アーンドラ・プラデーシュ州在住です。



台湾台北神殿前のベドゥルプカ夫妻

神殿のエンダウメントに関する質疑応答

初めて神殿に行く準備をしている人は、福音ライブラリーにあるこの記事のデジタル版の質疑応答を読むか、liahona.lds.org にアクセスしてください。以下はそこに掲載されている5つの質問の一つです。

神殿のエンダウメントと神殿で交わした聖約をさらに理解するにはどうしたらよいでしょうか

個人の研究において神殿に関する教えと聖約に焦点を当ててください。聖文、総大会の説教、そのほかの教会の資料の中からエンダウメントの原則と聖約について参考となる資料を探してください。個人の研究においてこれらの真理についてよく調べれば、神殿の儀式と聖約について理解を深める助けとなるでしょう。例えば、貞潔の律法について学ぶとき、ポテパルの妻から誘惑を受けたヨセフの高潔さは、あなたがこの律法に従う決意をするうえでどのような助けとなるでしょうか（創世 39 参照）。神の戒めに従うというニーファイの決意は、あなたが召しを受けて奉仕する方法に当てはめることができるでしょうか（1 ニーファイ 3 : 7 参照）。

個人的な状況が許すかぎり、しばしば神殿に足を運んでください。

「神殿では皆が同じことを教えられます。しかし、儀式と聖約の意味を深く理解するには、神殿で教えられる永遠の真理を学び、理解したいという心からの望みを持って、しばしば神殿に参入する必要があります。」

中央扶助協会会長第一顧問
シルビア・H・オールレッド
「聖なる神殿、神聖な聖約」
『リアホナ』2008年11月号、113

[lds.org/go/031949](https://www.lds.org/go/031949) にアクセスし、わたしたちが神と交わす聖約を理解する助けとなる記事を読んでください。



COLORADO

54

STATE LEAGUE
SPORTS

青少年のコーナー

家族歴史が大好きです！

家族歴史の業の大切さをいつも理解できていたわけではありません。チリのサンチアゴ神殿で、ある先祖のためにバプテスマを受けたとき、それが変わりました。

初めて神殿に行ったとき、わたしは執事でした。バプテスマフォントに入ろうとしたとき、部屋にだれか入って来るのを感じました。目を上げると、古い洋服を身に着けた高齢の男性が見えました。それはわたしが彼の身代わりの業を行っていたときのこと、彼の愛とわたしに対する感謝を感じました。身代わりのバプテスマを受けて水から上がったとき、彼を探しましたが、そこにはもういませんでした。

わたしは、神殿に来れば神殿の業のための名前をもらえていたと思っていたので、家族歴史の探究に興味がありませんでした。しかしこの経験によって、わたしは自分の家族の名前を探したくなりました。

ある日、コンピューターを開くと、家族の名前の書かれた教会からの電子メールを見つけました。さらに名前を探求する必要があると感じたので、効果的に名前を探して先祖の情報を集める方法を母に聞きました。

これまで11人の人の名前を見つけましたが、もっと見つげられると知っています。これらの人々は地上にいる間にバプテスマを受ける機会がなく、自分たちのために神殿の業が行われるのを長い間待っていたのです。神殿と家族歴史の業を通して彼らを助けることができうれしく思います。

ルーカス、

16歳 (チリ, サンチアゴ)



60

- 52 何が真実で何がそうでないか
カール・B・クック長老
- 55 「これは真実です。確かに真実です。」
デビッド・ムアンダ
- 56 総大会に参加する習慣を身につける
- 58 自分の価値を再認識する
匿名
- 60 日々の生活に奇跡を見いだす
ブレアンナ・コール・ハーバート、
アレックス・ヒュージー、
アスベン・スタンダー
- 63 ポスター——
神殿での時間
- 64 大切なメッセージ ——
総大会の間に主の声を聞く
ニール・L・アンダーセン長老



七十人会長会
カール・B・
クック長老

何が真実

最 近、17歳のケイリーというすばらしい若い女性に会いました。彼女はステーキ大会で心からの思いを分かち合ってくれました。彼女は、神は実在の御方であり、教会は真実であり、ラッセル・M・ネルソン大管長は神の預言者であるとはっきり述べました。また、教会やイエス・キリストの福音について一部の人々が言う否定的な事柄は間違っていると強い証を述べました。

ケイリーの強い信念と、何が真実で何がそうでないかを識別する能力に、わたしは感心しました。

しかし、集会後にケイリーと話して、彼女の識別の能力と強い信念が容易に得られたものではないと知ったとき、さらに感銘を受けました。事実、彼女は自分の信仰に対する深刻な試練に耐えたのでした。

彼女が分かち合ってくれたことを紹介しましょう。

答えを見つけるための葛藤

ケイリーはずっと教会に活発でした。しかし、福音と教会について深く考え始めるにつれ、深刻な疑問が幾つか心に浮かんできました。疑問を持つことに罪悪感を覚え、答えを探し始めました。

「わたしの問題は、間違ったところを探していたことです」とケイリーは話します。「聖文や大会説教を研究したり、両親と話したりするのはなく、わたしの疑問に対する答えを持っていると訴える記事をたくさんインターネットで見つけたのです。」

最初は、インターネットの記事が疑問に答えを与えてくれているとケイリーは思いました。しかし、「自分の疑問について続けて調べていくにつれ、読んだことがすべてさらなる疑問と疑いをもたらすようになってしまいました」と彼女は言います。

ケイリーは信仰も希望も失い始めました。「自分の証の光が弱くなり、聖文を読むこと、祈り、セミナーへ出席することなど、教えられていたことを徐々にしなくなってしまいました」と当時



で何が そうでないか

を思い出します。

彼女は結局、暗闇と混乱に圧倒されるようになりました。「何が神から来たもので、何がわたしを混乱させるためにだれかがねじ曲げて作り出したまもではない考えなのか、見極めることができませんでした。何が真実で何が偽りかを識別することができなくなっていたのです。このことで、わたしはひどく苦しみました。」

ケイリーは自分の状況と、ジョセフ・スミスが次のように言ったときのことを比較しています。「とうとうわたしは、暗闇と混乱の中にとどまるか、それともヤコブが指示しているとおりに行くか、すなわち神に願い求めるか、どちらかにしなければならないという結論を出すに至った。わたしはついに『神に願い求め』ようと決意した〔ヤコブの手紙 1:5〕。もし神が知恵に不足している者に知恵を与え、しかもとがめもせず、惜しみなく与えてくださるならば、思い切って願い求めてみるべきだと結論づけたのである。」(ジョセフ・スミス—歴史 1:13)

信頼のおける人たちに話す

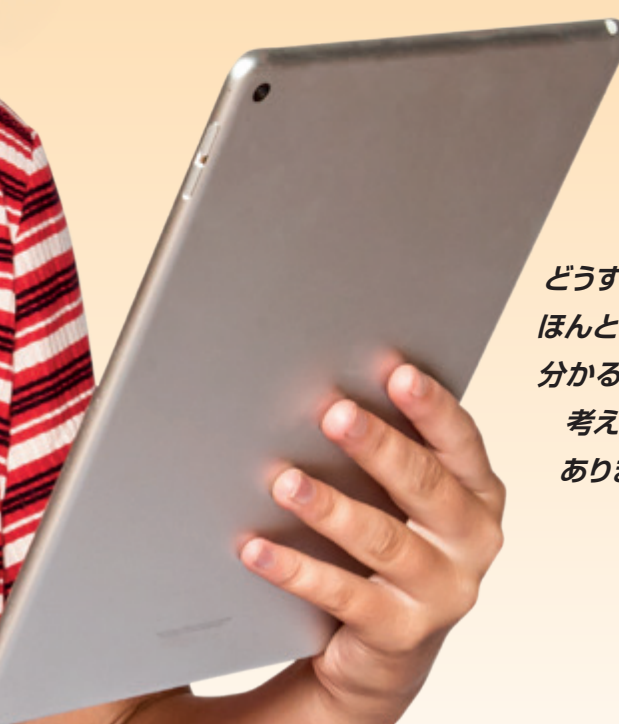
この重要なときに、ケイリーはセミナーの教師、祖母、母親に相談しました。セミナーの教師は、彼女の気持ちの間違ったものではなく、疑問を持つのは彼女だけではないと言ってくれました。その教師は自分の証を分かち合い、ケイリーが答えを探す助けとなるような資料を勧めてくれました。

ケイリーの祖母は説教したりはしませんでした。ただ、インターネットの情報と教会の教義の、どちらが彼女を高めてくれる情報源であるかを深く考えるようケイリーに強く促しました。ケイリーは比較を始めました。「どちらが自分を高めてくれるだろうか？ どちらがわたしの靈に喜びや平安をもたらしたでしょうか？ 神の戒めに従えば、終わることのない幸福な状態で家族とともに永遠にいられると教えてくれたのはどちらだろうか？ わたしを悩ませたのはどちらだろうか？」

祈りと聖文を通して神に求める

ケイリーの母親は祈るように勧めました。それで結局、ケイリーは部屋に行って心の内を神に注ぎ出しました。彼女はこう説明しています。「何も起こりませんでした。天使も降りて来ません。わたしの心は、平安と感謝で満たされもしませんでした。わたしは母のところへ戻りました。わたしたちは一緒に祈り、母はモルモン書を10分間読むように勧めてくれました。読むにつれ、心の中に、もしこれを続けて行うなら祝福されるという約束を感じました。何が神からの教えで何がそうでないかはっきりと知ることができるだろうと。」

ケイリーは毎日祈り、モルモン書を読み始めました。最初に疑いを持つきっかけとなったツイッターやウェブサイトから遠ざかり、教会について否定的なことを探すのではなく、学ぼうという目的をもってセミナーに行くようになりました。



**どうすれば、何が
ほんとうに真実か
分かるのだろうと
考えたことは
ありませんか。**

何が真実か識別する

2週間継続して努力した後、彼女は否定的な声が小さくなっていくのを感じました。勉強もうまくいきました。アルバイトがもっと楽しくなり、両親とさらに良い関係を持てるようになりました。彼女は以前よりも幸せだと感じました。

その幸せのおかげで、こう言っています。「わたしはついに答えを見つけました。神からのものとそうでないものを識別することができました。それはまず、神がわたしに求めておられることをしたときに、神がわたしのためにしてくださっていることを個人的に経験したからです。」

「それが、神から来ている真実かそうでないかを識別する唯一の方法です」と彼女は結論づけます。「わたしたちは、望むすべてのことについて研究し、深く考え、疑問を呈することができますが、ヤコブが示し、ジョセフ・スミスがしたように、求め、行動するまで、何が真実で何がそうでないかをほんとうに知ることはできないのです。」

ケイリーの経験から、何を学べるでしょうか。幾つかのアイデアを挙げてみましょう。

- 疑問を持つことを悪いことだと思わない。
- 答えを探求するとき祈ることを決してやめない。
- モルモン書を研究し、深く考える。
- 何を讀んだり聞いたりするか慎重に選択することで、真理からわたしたちを遠ざけ、破壊しようとするテクノロジーやメディアの騒々しい声をかき消すことができる。
- まったくの他人に助けを求めるよりも、よく知っていて、愛し尊敬している人々に相談する。
- 神は最後には、御自身の方法で御自身の時にわたしたちの疑問に答えてくださる。神はわたしたちを愛しておられる。
- 答えは、わたしたちが、世が勧めることでなく、天の御父の求めておられることを行うときに与えられる。

わたしはケイリーや、神がこの時に取っておかれた若い女性と男性の皆さんから靈感を受けています。皆さんの多くと同じように、彼女はラッセル・M・ネルソン大管長が思い描いている人の良い例です。「世の風潮を見極め、たとえどんなにもてはやされても浅はかなも

のや危険なものを確実に判別する識別の賜物を持った女性が、教会には必要です。」¹

皆さんは、真理を求める者、聖約を守る者、王国を建てる者です。神の助けと、イエス・キリストの力と贖いを通して、識別の賜物を受けて何が真実であるかを知り、それに従って生活し、分かち合うことができるのです。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン (ボイド・K・パッカーの引用)「姉妹たちへの懇願『リアホナ』」2015年11月号, 96 参照



LA SAINTE BIBLE

モルモン書についての証を得るために祈ったとき、何も起こりませんでした。聖書を読み始めるまでは。

12 デビッド・ムアンダ

歳のころ、わたしはモルモン書が真実であることを自分で知りたいと思していました。初等協会の教師がそうだったので、お話をすることができました。でも、自分の言葉であると証することができませんでした。それが真実であると感じてから、祈るなら、それが真実であると知ることができるというモロナイの約束を知っていました（モロナイ 10：3-4 参照）。数週間モルモン書を読み、平安を感じましたが、光や天使や声といった何か特別なことは起こりませんでした。結局、わたしはモルモン書を読むのをやめてしまいました。

ある日、出エジプト記を研究しているとき、イスラエル人が食糧に欠け、神がマナを送られたことを読みました。一人一人が毎日決まった量を頂けることになっていました。神は食糧を送りましたが、彼らはそれを集める方法を自ら考えなければなりません。

ニーファイの言葉が心に浮かびました。「主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それだけでなく、主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているから

です。」（1ニーファイ 3：7）この聖句から、神はイスラエル人にエジプトを去るよう命じられるとともに、彼らの飢えを満たすための計画をお持ちであったとわたしは理解しました。このモルモン書という聖典は、わたしはモルモン書が神の言葉であると結論づけました。十二使徒定員会のデビッド・A・ペドナー長老が説明しているように、個人の啓示はスイッチを入れたときに突然明るくなるというより、徐々に昇る日の出に似ています。1 わたしのモルモン書に対する見方が変わり始めました。

その後の数か月、わたしはモルモン書が神の言葉であるとそれまでにないほど確かに知ることができました。御霊の声を通して、何度も繰り返しわたしに与えられた印象は、「これは真実、真実、確かに真実である」というものでした。

わたしは今でもほとんど毎日モルモン書を読み、その度に「これは真実である」という言葉を耳にしています。■

著者はコンゴ民主共和国に住んでいます。

「これは
真実です。
確かに
真実です。」

注
1. デビッド・A・ペドナー「啓示の霊」『リアホナ』2011年5月号、87-90 参照

LE LIVRE DE MORMON

総大会に 参加する習慣 を身につける

総

大会は毎年4月と10月に行われます。半年に1回のペースに慣れていくことでしょう。しかし、どうしても確実にそれを自分の生活の一部、ひいては残りの人生の糧とすることができるでしょうか。

将来、自立したとき、6か月ごとに大会が開かれる際にあなたはどのようにしているでしょうか。この、年に2回のイベントに参加することで、それから得られる力を生かすという選択をしてください。「そのうちネットで見るよ」などと言わないでください。特別なイベントと位置づけ、生活の習慣としてください。

総大会を視聴することを習慣とするためにできることをここに挙げましょう。

1

目標を立てる。

生ける預言者と使徒の言葉を聞くことは、わたしたちができる最も大切なことのひとつです。できるだけ早く、すべての部会を視聴するようにしてください。すべての部会をいつまでに視聴し終えるか、日にちと時間を決めてみましょう。



2

その日を空ける。

できるだけ、大会を視聴する時間を作り、スポーツの試合や友人との活動など、別の用事の予定を入れないでください。生放送で総大会を見ることができなくても、自分のイベントとして視聴する日を決めることができます。

3

伝統を作る。

意義のある伝統の例には、お気に入りの説教について家族で話し合うこと、部会の前に家族で祈ること、または個人的な引用集を作るなどが挙げられます。楽しい伝統として、大会に関連した名前（大会チップス、ナチョス・グランデス・デ・コンフェンシア（訳注＝大会ナチョス（溶かしたチーズをかけたトルティーヤチップス））、インスピレーションアイスクリーム、大会ニンジンなど）の楽しい食事やスナックなどの食べ物を用意してもよいでしょう。



4


大会後の計画を立てる。

大会説教を日常的な福音学習の一部にしてください。次の6か月、毎週日曜日に一つの大会説教を読んだり、バスまたは車の中で聞くことを2、3週間続けたり、または個人の聖文研究のときに大会で引用されたすべての聖句を調べることが可能です。何であれ、決めたことを行えるように計画してください。■



「これからの6か月間、ぜひ、この大会のメッセージを頻繁に、しかも繰り返して、研究してください。家庭の夕べの中で、そして、福音を教えるときに、また、家族や友人との会話で、さらには、教会員でない人との話し合いの中で、これらのメッセージを取り入れる方法を注意深く探してください。」

ラッセル・M・ネルソン大管長
「神のみ業に進みて」
『リアホナ』2018年4月の総大会



自分の先祖について
学ぶことによって、
霊的な闘いに取り組む
勇気を得ました。

自分の価値を

匿名

11

歳のころ、初めてポルノグラフィーにさらされました。その一度の出来事が、大きな問題へと発展していきました。それは10代に経験した苦勞の大きな原因となりました。高校生になるまでには、ポルノグラフィーから離れ、イエス・キリストの贖いに心を向けられるようになりました。汚らわしさが心から消え去るといふ奇跡を経験しながらも、ひどい罪悪感はまだ残っていました。

そのころ祖母が、高祖母(祖母の祖母)テアの自筆の自伝を貸してくれました。数日もたないうちに、わたしは、テア・マルティナ・ワーゲン(1883-1967年)に魅せられていました。テアは、悲しいことに生まれる数か月前に父親を亡くし、寡婦となった、ノルウェーからの移民である母親に育てられました。苦勞の多い子供時代でしたが、野いちごを摘んだり、地元のルター派の教会でオルガンを弾いたりするのが好きでした。母親は再婚し、テアは継父の助けを受けて大学に進みました。その後、テアと家族は末日聖徒イエス・キリスト教会に入り、アメリカのユタ州に引っ越しました。テアの人生は苦勞ばかりでした。夫と離婚し、大変な心痛とひどい鬱に悩まされましたが、証を捨てることはありませんでした。

テアと、粘り強く困難に立ち向かおうとする彼女の選びについて知るにつれ、わたしは強い愛情に圧倒されて、自分の存在価値を確信し、心を縛っていた罪悪感を克服することができました。もし彼女にそんなに大変なことができたのであれば、自分にもできると気づいたのです。

イラスト
アレックス・ナバウム



再認識する

LDS.org のウェブサイトから、テアの祝福文を入手する手続きをしました。そして、彼女の祝福文にあった「あなたの胎から生まれる者たちは立ち上がり、あなたをシオンの女性の中で祝福された者と呼ぶでしょう」という言葉に感動しました。わたしの彼女に対する深い尊敬によって、その短い文が成就したことに気づいたのです。テアの愛はわたしの心にあった罪悪感を癒し、先祖へと思いを向けてくれました。これはデビッド・A・ベドナー長老の、家族歴史の業に参加すれば「ますます強まるサタンの影響力から守られる」という約束に対するわたしの最初の証です（「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』2011年11月号, 27）。

自分の家族を探求し、先祖の物語を学ぶにつれて、わたしの生活に強さと明快さが増したように感じます。家族歴史活動に継続して携わるときに、軍隊が全隊列をもって、わたしが霊的な闘いに取り組むのを助けてくれるような思いがします。わたしは恐れることなく生活できます。なぜなら、「われわれと共にいる者〔わたしたちの先祖〕は、彼らと共にいる者〔サタンに従う者たち〕よりも多い」からです（列王下6:16）。

神殿に提出するために何千人もの家族の名前を見つけたわけではありませんが、自分の先祖の物語を学びましたし、彼らの家族を見つけられるように注意深く探しました。時間を取って先祖の人生に思いをはせ、彼らが残したものを尊ぶようになりました。自分の先祖から受ける光で生活を満たすときに、サタンから守られ、強められてきたことを知っています。■

日々の生活に 奇跡を見いだす

教会機関誌

ブレアンナ・コール・ハーバート,
アレックス・ヒュージー,
アスペン・スタンダー

イエス・キリストへの
信仰というレンズを通して
人生を見詰めると、
目が開かれて、
周りにある多くの奇跡に
気がつきます。

神が奇跡を行われる 幾つかの理由

- 御自身の力を現すため
- 霊的な原則を教えるため
- すでに与えられた啓示を確認するため
- 信仰を確認し強めるため
- 業を推し進めるため

奇跡とは何でしょうか

皆さんは奇跡が何であるか知っています。モーセは紅海を分けました。救い主は目の見えない男性の視力を回復されました。末期症状の女性が癒されました。最も偉大な奇跡の一つは、イエス・キリストの贖いです。これほど広範囲にわたって強大な力を及ぼすものはありません。しかし、これらの出来事だけが、奇跡とされるのでしょうか。

大管長会第一顧問のダリン・H・オークス

管長は、「教会の業と会員の生活において、日々多くの奇跡が起きている」¹と述べています。それでも、あなたが最後に山を動かしたり、少しの魚と少しのパンで数千もの人を満たしたりしたのはいつだったのでしょうか。そのようなことをほとんどの人は見たことがないでしょう。それでは、オークス管長の言葉はどのように正しいと言えるのでしょうか。

『聖書辞典』(Bible Dictionary)では、奇跡は「神聖な力または霊的な力の現れ」²と

➤ されています。その定義に従って、周りにある多くの奇跡、普段見過ごしている奇跡に目を向けてみましょう。

聖典では、奇跡を通して、神に従う人々の人生に神の手を明らかに見ることができません。しかし、わたしたちが祈りの答えを受けたり、証を強めたり、心の変化を経験したりするときにも、神の霊的な力を見ることができます。

➤ できるのです。

神はなぜ奇跡を行われるのでしょうか

奇跡は様々な形を取りますが、神は一貫して同じ目的のために奇跡を行われます。奇跡が癒しや慰め、あるいは神の子供たちに物理的な防御をもたらすことがあります。このような外形的な効果は、奇跡が起こる唯一の理由ではありません。多くの場合、奇跡

忘れてしまいがちな奇跡があります。例えば毎日太陽が昇って沈むことや、小さな種が大木へと生長することです。



➤ それだけでなく、忘れてしまいがちな奇跡がほかにもあります。例えば毎日太陽が昇って沈むこと、小さな種が大木へと生長すること、またわたしたちの体の様々な部分が相互に働いて、呼吸したり走ったり、夢を見たり、食べたりできることなどです。靈感を通して医学やテクノロジーは日々進歩しており、わたしたちは今ではほぼこのだれとでも連絡を取ることができます。神の力は、生活のあらゆる面で、細部にわたって見いだすことが

➤ は、苦しみや悲しい出来事を避けるためにあるわけではないのです。神はおもに二つの理由から奇跡を行われます。信仰を強めるためと、善を行うためです。

たいてい、奇跡は神の子供たちに神の力を現すため、あるいは霊的な原則を教えるためにあります。『聖書辞典』には、イエス・キリストの多くの奇跡は、「ユダヤ人に対して、イエスがキリストであることを証明し」、責任を負うことや悔い改め、信仰、そして愛など

何ができるでしょうか？

時間を取って、先週を振り返ってみましょう。日々の生活で、何げない奇跡を見たでしょうか。期待した奇跡が起きなかったとしたら、ほかに慰めや霊的な成長、あるいは救い主を近くに感じる機会となるような経験はなかったでしょうか。

の原則を教えるためのものであると記されています³。

また、奇跡は、すでに与えられた啓示を確認することもあります。例えばアメリカ大陸で与えられたキリストの誕生のしるしなどです。神は、家族歴史の業、伝道の業といった、御自身の業を推し進めるために奇跡を用いられることもあります。

しかし、わたしたちが間違った理由で奇跡を求めると、問題が生じます。最もよくある問題は、神の存在を立証するものとしてしるしを求めるときに生じます。信仰を示すことなく求めれば、たとえしるしが与えられても、ほんとうの永続する改心には至らないのです。モルモン書の中の出来事を見れば分かるでしょう。大勢の人がしるしや奇跡を見ましたが、信仰がなければ従順は長続きしませんでした。

評判や金銭を得るため、また報復や神の御心を変えようとするために奇跡を求めることも正しいことではありません。

ブリガム・ヤング大管長（1801－1877年）はこう述べています。「奇跡は……不信者のために与えられるのではなく、聖徒に慰めを与え、神を愛し、畏れ、仕える者たちの信仰を強めて確認するもの〔です。〕」⁴ 神がなぜ奇跡を行われるのかを理解することによって、自分の人生の奇跡に気づくことができるようになります。

どのように奇跡に気づくことができるでしょうか

奇跡は神の御心と神を信じるわたしたちの信仰によってのみ起こります。預言者モロナイは次のように記しています。「どのようなときでも、信じてからでなければ奇跡を行った者はいない。したがって、奇跡を行った者はまず神の御子を信じたのである。」（エテル 12：18）信仰を持つことによって、わたしたちの人生における良い出来事が、偶然や幸運によるものではなく、神の業だと分かるようになります。奇跡に気づくこと自体が、ある意味で奇跡なのです。イエス・キリストへの信仰というレンズを通して人生を見詰めると、目が開かれて、周りにある多くの奇跡に気がつきます。

しかし、その規模やタイミング、もたらす影響は、わたしたちの信仰の度合いを示すものではありません。例えとして、二つの家族でそれぞれ子供にがんが見つかったとしましょう。両方の家族が、愛する子供が早く快復す

るように祈りますし、どちらの家族も、イエス・キリストの癒しの力を信じて信仰を働かせます。

最初の家族の子供は、余命1か月という医師の診断に反して、完全に快復します。2番目の家族の子供は度重なる治療に苦しんだ末に亡くなりますが、家族全員が失望ではなく豊かな平安と慰めを感じます。

最初の家族は、必ずしも2番目の家族よりも信仰が強かったわけではありません。どちらの家族も自分たちに必要な形で奇跡を経験し、どちらの家族の奇跡も、神が御自身の子供たち一人一人に計画を備えておられることを永続的に示す過程の一部なのです。

主は日々、わたしたちの生活において一見何げない、また時には並外れた奇跡を行われます。イエス・キリストに忠実に従う人々は、どの神権時代においても劇的な癒しや説明不可能な成功を経験してきました。しかしながら、日々の生活にあって、神の手が及んでいることを示す出来事を見過ぎてはなりません。それに気づきさえすればよいのです。■

注

1. Dallin H. Oaks, "Miracles," *Ensign*, June 2001, 6.
2. Bible Dictionary, "Miracles."
3. Bible Dictionary, "Miracles."
4. 『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』 279

「奇跡は……不信者のために与えられるのではなく、聖徒に慰めを与え、神を愛し、畏れ、仕える者たちの信仰を強めて確認するもの〔です。〕」

——ブリガム・ヤング大管長

神殿を築き、保持することが
皆さんの生活を変えることには
ならないかもしれませんが、

神殿で 時間を 過ごせば

確実に生活が変わります。

ラッセル・M・ネルソン大管長
2018年10月総大会



SANTIDAD AL SEÑOR
LA CASA DEL SEÑOR

総大会の間に 主の声を聞く

十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老

わたしは証します。イエスはキリストであり、この神聖な業に関する諸事を導いておられ、総大会は主が御自身の教会とわたしたちに直接導きをお与えになる非常に重要な機会の一つです。

現在、わたしたちは、ラッセル・M・ネルソン大管長の指示の下に集まるために備えるとき、「主の〔御〕心……主の思い……主の声」を聞き、「救いを得させる神の力」を得られることを期待します（教義と聖約 68：4）。主の次の約束を信頼しているのです。「わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」（教義と聖約 1：38）

近代世界の混乱と騒乱の中にあって、大管長会と十二使徒定員会の言葉を信頼し、信じることは、わたしたちが霊的に成長し堪え忍ぶうえで不可欠です。

わたしたちは祈り、備えをして総大会に臨んでいます。わたしたちの多くは、切実な不安と重大な疑問を抱えています。わたしたちは、救い主イエス・キリストを信じる信仰を新たにし、誘惑に耐えて心を乱さない能力を高めたいと思っています。わたしたちが来ているのは、高い所から教えを受けるためです。

皆さんに約束します。自らを霊的に備え、主の御声を聞くという期待を持って来るならば、皆さんの必要に特別に応じた思いや気持ちを与えられるでしょう。

総大会のメッセージには、皆さんが見つけてくれるのを待っている、天の導きという宝箱があります。わたしたちそれぞれの試しは、聞いたり、読んだり、感じたことにどのように応じるかです。

わたしは約束します。総大会の教えを通して主の御声を聞き、その促しに従って行動するならば、皆さんは差し伸べられる天からの御手を感じ、皆さんの生活と周りの人たちの生活は祝福されるでしょう。■

2017年10月の総大会における説教から。

英語、
フランス語、
ポルトガル語、
スペイン語
を話す。



ブリガム・ヤング大学 (BYU) で1年生だったとき、
授業に出る前に、
朝4時から始まる**トイレ清掃**の
仕事をしたことがある。



ニール・L・アンダーセン 長老



高校生のときに、
37か国から集まった青少年とともに
生徒会大会に参加し、
ほかの生徒たちに教会について
話をした。



BYUで、
**学生自治会の
副会長**
に選ばれた。



仕事から帰って、家族と
**バスケット
ボール**を
するのが好き。

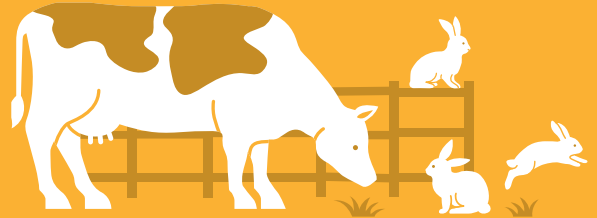


BYUと
ハーバード・
ビジネス・
スクールを
卒業した。

1975年
3月20日、
**ソルトレイク
神殿**で
キャシー・
ウィリアムズ姉妹と
結婚。



アメリカ合衆国アイダホ州ポカテロの
酪農農場で育った。



農場でのお気に入りの仕事の一つは
ウサギの世話だった。

子供一人一人に思いを
集中して向けられるように、
毎月1度、朝食に
一人ずつ誘っている。



**フランス
伝道部**で伝道し、
後にフランス・ボルドー
伝道部の伝道部会長
として奉仕した。



2009年4月、
十二使徒定員会
の会員として
支持された。



1951年8月9日に
**ユタ州
ローガン**で
生まれた。



ヤングアダルト

神殿で礼拝する

神殿のガーメントを
身に着ける祝福について読み、
神殿の聖約をさらに理解するように
してください。

42

青少年

**何が真実か
知る方法**

52, 55

日曜日のレッスン

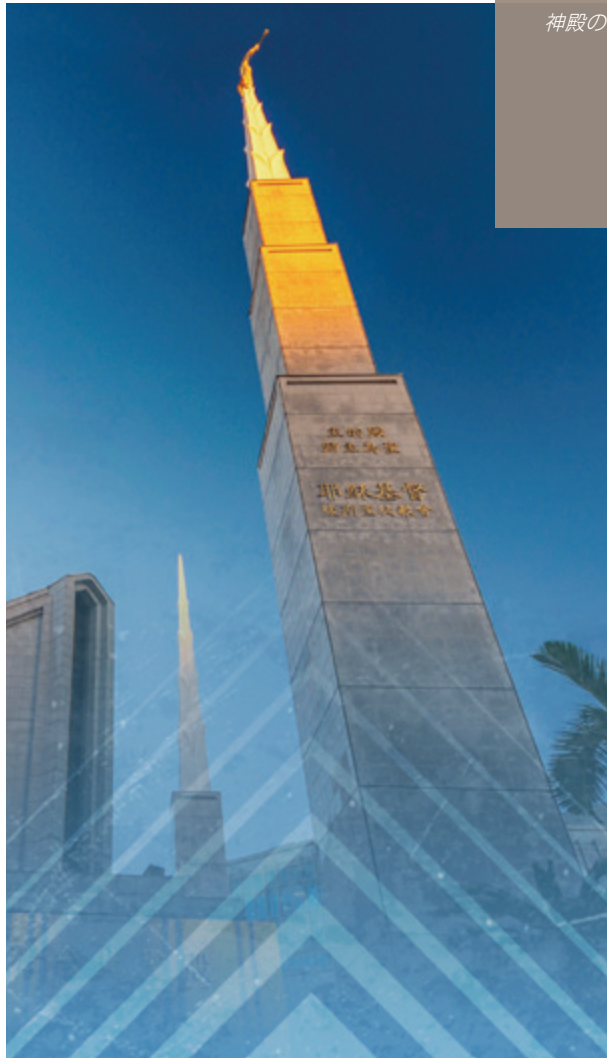
**今日の奇跡は
どのようなものですか？**

60

総大会

準備はいいですか？

56, 64



末日聖徒
イエス・キリスト
教会



4

02186 03300

9

JAPANESE

ワールド



あたら
新しい
イタリア
の神殿！
8ページから11ページを
見てください。



だい かん ちやう かい だいに こもん
大 管 長 会 第 二 顧 問
ヘンリー・B・
アイリング 管 長

イエスさまのように

あ ^{にちやう び}る 日 曜 日、^{しやうとうきやう かい} わたしは 初 等 協 会 の ^{こども} 子 供 たち が ^{うた} 歌 う ず が
たをながめていました。

「わたしもなりたい イエスさまのように
言葉、行いで 愛をしめそう
ゆうわくも あるけれど
みみかたむけよう 小さな声に
たがいに 愛しあえ
イエスさまのように
イエスさまの教え
ひとにやさしく」

どの子も、^{まえ} 前 の ^{せき} 席 まで ^み 身 を ^{のりだ} 乗 り 出 して いました。 ^{こども} 子 供 たち

ちの目には光が、表情には決意が見えました。イエス・キリストがそれらのものはんでした。主のようになることが、子供たちの目標でした。

だれでも、主の福音にしたがって生活することにより、救い主イエス・キリストのようになることができます。みなさんが、主がなさったように行い、主が愛されたように愛する機会をさがすよう願っています。主はわたしたちが主のようになるよう、愛をもってみちびいてくださいます。わたしたちのうち、だれもまだ完全ではありません。でも、わたしたちは主の道にしたがっていると知ることができます。主はわたしたちをみちびき、わたしたちが主にしたがうよう望んでおられます。●

「わたしたちの完全なもはん」『リアホナ』2009年11月号、70 - 73から



あなたはどのような方法で人々に愛をしめすことができますか。思いやりの庭に花を送ってください! liahona@ldschurch.org に電子メールを送ってください。

さんじょう すいくん
山上の垂訓

せいぶんは、「山上の垂訓」とよばれる、イエスの特別なお話（「説教」）についておしえています。以下のせいくを調べて、イエスが教えられたことと一致するものをさがしましょう。●



マタイ 6:6 - 15



マタイ 5:44 ; 7:12



マタイ 5:14 - 16

マタイ 7:7 - 11



マタイ 5:2 - 11



いのりの力

きょう 今日、あなたはだれのためにいのることができますか？

きょうかい きかんし
教会機関誌

デビッド・ディクソン

ほんとうにあったお話をもとに書かれました

「おたがいのためにいのりなさい。」

(ヤコブの手紙 5:16)

お父さんが、コンピューターの周りにみんなをよび集めました。ルーシーは、遊んでいたきりんのぬいぐるみを放って、急いでやってきました。どうしたの？ おばあちゃんにオンライン電話をする時間？

お父さんはコンピューターの画面を指さしました。「総大会のお話の一部を見てもらいたいんだ。」

ルーシーは目を細めて見ました。おばあちゃんではありません。大管長会のアイリング管長です。

お父さんは再生ボタンをおしました。アイリング管長は、教会の指導者をささえることについて教えていました。教会の指導者はわたしたちのいのりを必要としている、と説明しました。

「だからみんなで預言者のためにいのっているんだね、お父さん」と弟のデビッドがたずねました。お父さんもお母さんもうなずきました。

「そうだよ」とお父さん。「でも、ずっと支部会長会のことも考えていたんだ。アルバレス会長と顧問たちも、わたしたちのいのりを必要としていると思うんだ。」

ルーシーは、アルバレス会長と顧問たちが大好きでした。

いつもルーシーにとっても親切にしてくれました。

ルーシーはかれらを助けたいと思いました。

「支部会長会のためにいのるわ」とルーシーは言いました。「家族のいのりの中でもいのれるわよね！」

「それはすてきなアイデアね」とお母さんが言ってくれました。「そうしましょう。」

それから数日間、ルーシーはいのる度に支部会長のためにいのることをわすれないよう一生懸命努力しました。毎回、ほんの数秒しか時間はかかりませんでした。

た。簡単です！
次の日曜日の聖餐会

で、アルバレス会長は賛美

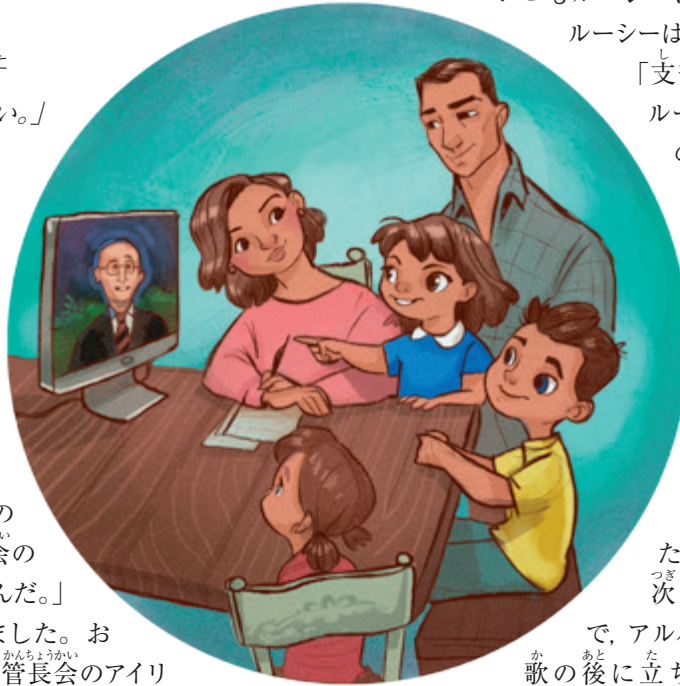
歌の後に立ち上がりました。

それからアルバレス会長が言った言葉

に、ルーシーは目を丸くしました。

「支部会長会として、皆さんのいのりに感謝をお伝えしたいと思います」と会長は言いました。「みなさんのいのりからほんとうに力をいただいています。めしを果たすために、皆さんの信仰といのりがほんとうに必要です。ありがとうございます。」

ルーシーはにっこり笑ってデビッドの方を見ました。デビッドもにっこり笑っていました。ルーシーは、聞いたことが信じ





「いのると、天父とイエスさまを近くに感じます。」

ロレナ・エドゥアルダ・N, 5才
(ブラジル, サンパウロ)

られませんでした。うれしくて、じっとすわっていられませんでした。ルーシーは前のめりになり、お母さんのそでを引っぱりました。

「お母さん!」とささやきました。「アルバレス会長の話、聞いた?」ルーシーは飛びはねたい気分でした。「聞かれたのよ! わたしたちのいのりが聞かれたのよ!」

教会の後、ルーシーは家族と一緒に歩いて家に帰りました。

「神さまはたしかにわたしたちのいのりを聞いてくださっているのね」とお母さんは言いました。「何人かですばらしい力があるわね。」



ルーシーの心は温かくなり、幸せな気持ちになりました。お母さんとお父さんを後にして、ルーシーとデビッドは歩道をスキップして行きました。ルーシーは、天のお父様が家族のいのりを聞いてくださったと知りました。家族はたしかに人にえいきょうをあたえていたのです。ただのっただけで!

そのばん、ルーシーはいのるじゅんびをしました。初等協会の先生や、もっと祝福を活用できる教会指導者について考えました。かれらのためにもいのろうと思いました。ルーシーはうでを組んで頭を下げました。何といのればよいかは決まっていました。●



イラスト／ホリー・ヒバート

総大会を見ている間に

4月の総大会中、これらの言葉をさがしながら話を聞き、
聞こえたらその言葉が書かれているところに色をぬりましょう。



主はそこにいる

静かに ♩ = 48-58

詩・曲：サリー・デフォード

1. おとうさまはいつでもわたしのすぐそば
2. めぐみにいかんしゃするとしゅはわたしのほ
3. ひざまずいていのつてもこころのなかで

ばーに いる い の り を さ さ や く と き に
ほーえ ん で ひ と り で さ さ び し い と き は
い の っ て も しゅ の あ い で つ つ ま れ る の

しゅ は す ぐ そ こ に い る ー と な り に い

To Coda ⊕

る ー る おとうさまにのれ

る いつでも どこでも ささやけばきーこえる

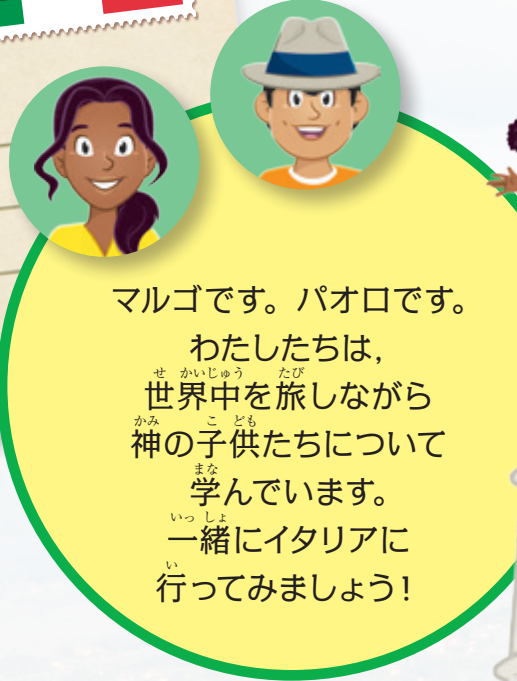
しゅ は そ こ に い る

D.C. al Coda

しゅ ー は そ こ に い る

⊕ CODA

イタリア から こんにちは



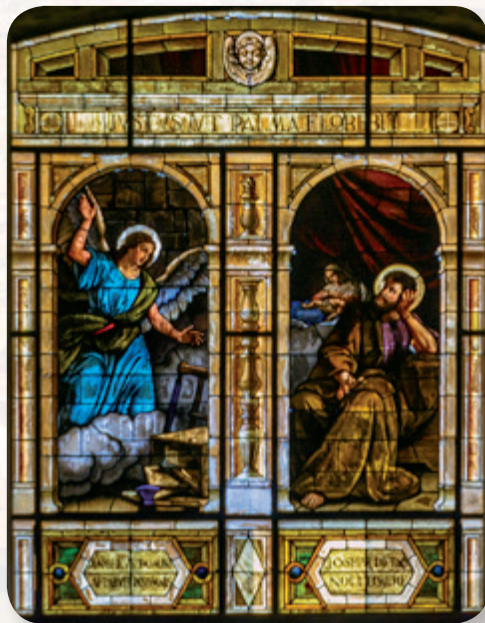
マルゴです。パオロです。

わたしたちは、
世界中を旅しながら
神の子供たちについて
学んでいます。
一緒にイタリアに
行ってみましょう！

イタリアは、南ヨーロッパにあります。
地図では、ブーツのように見えます。
イタリアには6,000万人以上が
住んでいます。



イタリア語で「神の子です」は何と
知っていますか？ Sono un figlio di Dio.
この女の子は、イタリア語でモルモン書
を読んでいます。



ほとんどのイタリア人はカトリック教会に
所属しています。カトリック教会の信条は
わたしたちのものとは一部ことになり
ますが、かれらも天の御父とイエス・キリスト
とせいを信じています。



夕食前に、多くのイタリアの家族は *passeggiata*、つまり夕食前の散歩に行くのが好きです。すてきな服を着て、一緒に広場を散歩します。イタリアのアイスクリーム、ジェラートのお店に立ちまわることもあります。おいそう！



イタリアの子供の多くは、*pausa pranzo* (昼休み) に、家族とご飯を食べるために学校から家に帰り、パスタと肉と野菜を食べます。

イタリアの友達をしょうかいします！



今月、ローマに神殿が開館します。2008年10月の総大会で発表された神殿です。イタリア初の神殿となります。

あなたは
イタリアから来ましたか？
わたしたちはみなさんの
意見を聞きたいので、
最後のページにある
送り方をみてください。



「わたしはイエスさまが生きていて、預言者をみちびいておられることを知っています。教会に行ってイエスさまについてもっと学ぶことはとても大切です。ほくは、福音についてもっと知りたいので、モルモン書を毎日読み始めました。」

ロレンゾ・B, 11才
(イタリア、ピエドモント)



「神殿の近くにいると、イエスさまのことを考えて、わくわくします。もう、神殿に行くのに12時間も車に乗らなくてもよくなります。たった50分で神殿に行けるようになるんです！12才になったら、神殿に行ってバプテスマができるようになります。」

オリビア・G, 8才
(イタリア、ラツィオ)

一緒にイタリアをたんけん
してくれてありがとう。
また会いましょう！ *Ciao!*



マリッサ・ウィディソン

ほんとうにあったお話をもとに書かれました

「いつの日か入る 神殿に」(『子供の歌集』99)

ジョエレとミシェレは、道の向かいの建設地をじっと見ていました。たくさんの金属梁やセメントのそうが見えました。

ジョエレが言いました。「まだ神殿には見えないね。」

「でも、いつか神殿になるんだよ」とミシェレが答えます。

この二人の兄弟がイタリア・ローマ神殿の建設地を見るのは、これが初めてです。今、かれらの家族は神殿に行く

ために、わざわざスイスまで行かなければなりません。でも、この新しい神殿は家からたった30分のところにあるのです。

ミシェレとジョエレは大きな黄色いトラックが土の山を動かすのをながめていました。

「きっとあそこにせんとうが建つんじゃないかな」とミシェレは言い、建物の前の辺りを指さしました。

ジョエレはうなずきました。「見て！ パパが来るよ」と

大きくなる ローマ神殿を ながめる



ジョエレは言いました。父親はふだんの仕事着を着ていました。教会の服と白い建設帽です。父親は、神殿で電気技師として働いていました。二人は、毎日父親がどんな仕事をしたかという話を聞くのが大好きでした。例えばある日、父親はリストぞうが到着したと子供たちに教えてくれました。別のときには、バプテスマフロントについて話しました。

そのばん、ミシェルはわすれずにいのり、神殿のことを天のお父様に感謝しました。神殿についてのいふと、いつも心が温かくなりました。

それから何週間もたちました。神殿の丸みを帯びたかべは強い石でおおわれ、2本の高いせんとうが空に向かってそびえていました。また、小さな訪問者センターが近くに建設されました。時々、ジョエレとミシェルはそこに行って、顔をまどにおし当て、どこが変わったかを見ようとしました。

するとある日、うれしいことがありました。

「モロナイぞうが神殿のてっぺんに設置されるのを見たと思わない?」とお母さんがたずねました。建設作業者の家族がみんな、見るよう招待されたのです。

ジョエレとミシェルにとってはまるでゆめのようでした。二人とも大喜びしました。

翌朝、二人は白いシャツとネクタイを身に着けて家族と一緒に神殿の周りを歩きました。金の天使モロナイと一緒に写真までとることができました。巨大でした!

その後、作業者がぞうを動かし始めました。ジョエレは、巨大なクレーンが慎重に天使モロナイをせんとうの上上げるのをながめました。ドローンがブンブン飛びながら、ビデオさつえいをしていました。とてもかっこよかったです!

ジョエレは、神殿の敷地をおとずれることによって教会について学ぶ人々のことを考えました。また、たくさんの人が神殿で結婚したり、死者のためにバプテスマを受けたりすることを考えました。

ジョエレは、「神殿に見えるようになったね」とミシェルに言いました。ミシェルはにっこりして、うなずきました。

二人は幸せな気持ちになりました。もうすぐ神殿に入れると思うとわくわくしました。二人のあかしは、建物と一緒に大きくなりました。●

イタリア・ローマ神殿は、3月10-17日の週にほうけんされます。friend.lds.orgにアクセスして、神殿が建てられている様子をビデオで見てください。



ティファニー・M・リーリー

家族や友達に「愛してるよ」と言う方法はたくさんあります。グループでこのゲームをしましょう。ボタンや石をコマとして使います。さいころをふって前に進み、止まったマスに書いてあることを行います。●

「愛してるよ」の いろいろな 伝え方

だれかがあなたに愛を
しめてくれたときのことについて話そう。

あなたが
あなただけに愛を
しめてくれたことを
今週行うことを
一言で言おう。

だれかがあなたに愛を
しめてくれたときのことについて話そう。

「神は世を愛し」
(「賛美歌」107番)
を歌おう。

だれかがあなたに愛を
しめてくれたときのことについて話そう。

ヨハネ
3:16を
読む。

「愛してるよ」と言う。

のころを
伝える。

だれかをだきしめる。

あなたが愛をしめてくれた
ことについて話そう。

あなたが愛をしめてくれた
ことについて話そう。

2:29-31
を読む。

夫のあなたへの愛を
話そう。

あなたが愛をしめてくれた
ことについて話そう。

ヨハネ13:34を
読む。

だれかをだきしめる。

だれかがあなたに愛を
しめてくれたときのことについて話そう。

スタート



ゴール

あなたが
愛をしめすために
今週行うことを
一つ言う。

10秒ですでに
たくさんハートを書く。

うでハート型を作る。

だれかがあなたに
愛をしめしてくれた
ときのことについて話す。

「共に愛し合え」
（『賛美歌』192番）
を歌う。

あなたが
愛をしめすために
今週行うことを
一つ言う。

だれのために
絵をかく。

だれかを
だきしめる。

手でハート型を
作る。

「愛してるよ」と
言う。

ハイタッチをする。

ほめる。

だれか
好きな人
のことに
話をする。

だれかあなたに
愛をしめしてくれた
ときのことについて
話をする。

思いやりを
ほほえみかける。

「イエス様のように」
を歌う。

やさしい言葉を
カードに書いて人に
大好きな人に
わたす。



ロシアを訪問するウークトドルフ長老

使徒たちは、人々に仕え、イエス・キリストについて
教えるために世界中を旅しています。

データー・F・ウークトドルフ長老とハリエット・ウークトドルフ姉妹は、ロシアに行って現地の教会員を助けました。使徒になる前、ウークトドルフ長老は飛行機の機長として飛行機でよくロシアをおとずれていました。●



ロシアは大きな国で、これまでに神殿は建設されていません。昨年、ネルソン大管長は、ロシアに神殿が建設されると発表しました。みんなとても喜びました！



まず、ウークトドルフ長老が、ロシアの首都、モスクワに行きました。モスクワの人々はウークトドルフ長老と会い、長老の教えを聞くのを楽しみました。ウークトドルフ長老は、わたしたちは人に仕えることにより、イエスについて知ってもらうことができると言いました。

ロシア

サンクトペテルブルク

モスクワ

ウークトドルフ長老は次に、サンクトペテルブルクという大きな市をおとすれました。ロシアでは、宣教師は「ボランティア」とよばれ、毎日助ける相手を見つけます。宣教師が福音について人々に教えられるのは、教会の建物の中でだけです。ウークトドルフ長老は、伝道を終えて家に帰ろうとしている何人かのボランティアと一緒に夕食を取りました。



あたら しい 神殿がいつどこに建設されるかはまだ分かりませんが、
ウークトルフ長老はロシアの人々に、神殿が建設される日に
そなえて生活を整えるようすすめました。

「心を神殿に
そなえる必要が
あります。」



神殿にそなえる

いつか神殿に参入するためにそなえる方法にはどのようなものがあるでしょうか。



部屋に神殿の写真をかざる。



まだバプテスマを受けていない人を
系図から見つける。



神殿に参入したことがある人と
神殿について話す。

マッティー博士を しょうかいします

ジョーダン・モンソン・ライト

ほんとうにあったお話をもとに書かれました

18 73年にブリガム・ヤング大管長が総大会で説教をしていた時のことです。ブリガム・ヤング大管長はこのように言いました。「この山々の谷に女性の医師があらわれる時が来ました。」

16才のマーサ(マッティー)・ヒューズは、預言者の発表を聞いてわくわくしました。ついに、いくつかの医学校が、医師を目指す女性の入学をみとめたことを知りました。医師になることはマッティーのゆめでした。

もちろん、医学校に行く前に、たくさんお金をためなければなりません。大学の学位も取らなければなりません。多くの時間がかかるでしょう。大変な努力が求められるでしょう。それは分かっていました。

でも、マッティーは妹のアニーのことを思いうかべました。アニーはユタへの荷車の旅の途中でなくなりました。アニーが病気になったとき、助けてくれる医師はいませんでした。それから、マッティーの父親もなくなりました。このソルトレーク・シティーで、マッティーは病気にかかったりけがをしたりした人をたくさん知っていました。マッティーが医師になれば、その人たちを助けられます。

マッティーは信仰を持つと決めました。預言者が、女性は医師になる訓練を積むべきだと言い、マッティーはその一人になりたいと思ったのです。神は、マッティーが医学校



に行くための方法を見いだせるよう助けてくださるでしょう。マッティーは一生懸命働いてお金をためました。新聞社の植字工として働きました。新聞を印刷できるよう、一字ずつ、一単語ずつ、慎重に正しい順番にならなければなりません。仕事を終えると、マッティーは大学のク



ラスに行き、医学学校のじゅんびをしました。

マッティーは家と仕事場と学校の間を歩き来し、毎日10キロも歩きました！自分のふだんのくつは、重いどろの中を歩けるほど丈夫ではなかったのです、男性用の重たいブーツをはきました。歩く代わりにラバが引く路面電車に乗れたらどんなに良いだろうと思いましたが、学校に行くためには一銭も無駄にはできませんでした。

マッティーは、十分お金をためられないのではないかと心配でした。母親と義理の父親が助けてくれるだろうとは思いましたが、かれらにはほかにも世話をしなければならぬ子供がいました。ほかにも何ができるでしょうか。

マッティーは資金集めのもよおしを開き、友人やワード会員に、出せるお金があればいきょうしてもらえようたのみました。皆、喜んで助けてくれました。マッティーはヤング大管長のよびかけにこたえた、たった3番目の女性で、友人たちはマッティーが成功して医師になるのを望んでいました。

資金集めのもよおしを終えると、医学学校に行くためのお金がたまりました。マッティーは国を横断して大学に行き、一生懸命勉強しました。

2年後、マッティーは堂々と顔を上げ、卒業式の台に向かって行進し、卒業証書を受け取りました。とうとう医師になったのです！そのときほどむねおどる経験をしたことはありませんでした。

マッティーは、拍手をしている見知らぬ大勢の人たちを見ました。家族や地元の友人は一人もそこに来られませんでした。けれど、かれらがマッティーのことをほこりに思ってくれていると知っていました。間もなく、マッティーは家に帰り、治療をしたり、学んだことを教えたりしました。

ユタ州にもどって来ると、マッティーはソルトレーク・シティにある扶助協会の病院につとめました。マッティーはロッキー山脈のそばの暮らし気に入っていました。また、医師という仕事も気に入っていました。病気を治療し、けがを治し、赤ちゃんの分娩の方法についてのクラスを教えたりもしました。

医師になるには、一生懸命努力しなければなりません。でも、天のお父様はマッティーを愛し、助けてくださいました。マッティーは人を助けることに残りの人生をささげました。●

筆者はアメリカ合衆国ミシガン州に住んでいます。



マーサ(マッティー)・ヒューズ・キャンン(1857-1932年)は、開拓者であり、医師、政治家でした。アメリカ合衆国で州上院議員に選出された初めての女性でした。ひとびとを助けようとするために熱心に取り組みました。



しちじゅうにん
七十人
マッシモ・デ・
フェオ長老

両親から 学んだ教え



に、わたしたちはバプテスマとかくにんを受けました。わたしが10才、兄が11才のときでした。

わたしは18才になると、伝道のための費用を出すのを助けてほしいと父にたのみました。最初は、「無理だ。そんな金額ははらえない」と父は言いました。でも、数日後、こう聞いてきました。「ほんとうに伝道に行きたいのかい。」わたしは

「はい。どうしても行きたいと思っています」と言いました。父は、助けると言ってくれました。

わたしは、父がなぜわたしのためにそのような多額のお金をはらってくれるのか分かりませんでした。そのとき、父がわたしを愛しているからだということに気づきました。わたしは、イエス・キリストがわたしたちのためにはらってくださいたぎせいを思い出しました。イエスはわたしたちを愛しておられるので、最も高い代価をはらってくださいたのです。

わたしが伝道から帰ると、母はがんにかかっています、とても体調を悪くしていました。ある日、母はわたしにいのり方を教えてほしいと言いました。母はわたしのためにいのり方をしたのです。苦しみながらも、母はほかの人のことを考えていました。母もまた、イエスのことをわたしに思い出させてくれました。イエスはわたしたちをあがなってくださいたとき、大きないたみを感じておられました。それでも、わたしたちのためにいのってくださいたのです。

両親はこの世で教会に入ることはありませんでしたが、わたしの良いもはんでした。わたしは、両親から学んだ教訓に感謝しています。わたしたちは、両親や教師や指導者の教えに心を開くときに、かれらからたくさん学ぶことができます。●

わたしは、南イタリアの小さな町で育ちました。家族は、教会員ではありませんでした。9才だったある日、二人の宣教師が家のドアをたたきました。

両親は宣教師の話に興味がありませんでしたが、わたしは興味を持ちました。兄のアルベルトもそうでした。両親は、わたしたちが宣教師と会うのをゆるしてくれました。後

ショー・アンド・テル(みんなの発表)



わたしたちは、初等協会の創立記念日を祝うために、家族と宣教師に手伝ってもらってタレントショーを開きました。それぞれの家族が、モルモン書の物語のげきをしました。

初等協会の活動, コロンビア・カリ, コリマステーク

わたしのバプテスマは、わたしにとってとても特別でした。わたしはお母さんと一緒に、バプテスマを受けることをお父さんがゆるしてくれるようお願いしました。神様はわたしのいのりにこたえてくださり、お父さんはゆるしてくれました。わたしはバプテスマを受けました。地上で唯一の真実の教会、末日聖徒イエス・キリスト教会に所属できてとてもうれしいです。天のお父様について知る度に、あかしが毎日強まっています。



エイミー・V, 9才 (エクアドル, エルオ・オロ)



弟と妹がけんかをしていました。イエス様はけんかをしないうちと教えられたことを二人に言いました。良いものはんになれて、良い気持ちになりました。

テクワン・K, 10才 (ザンビア, ルサカ)

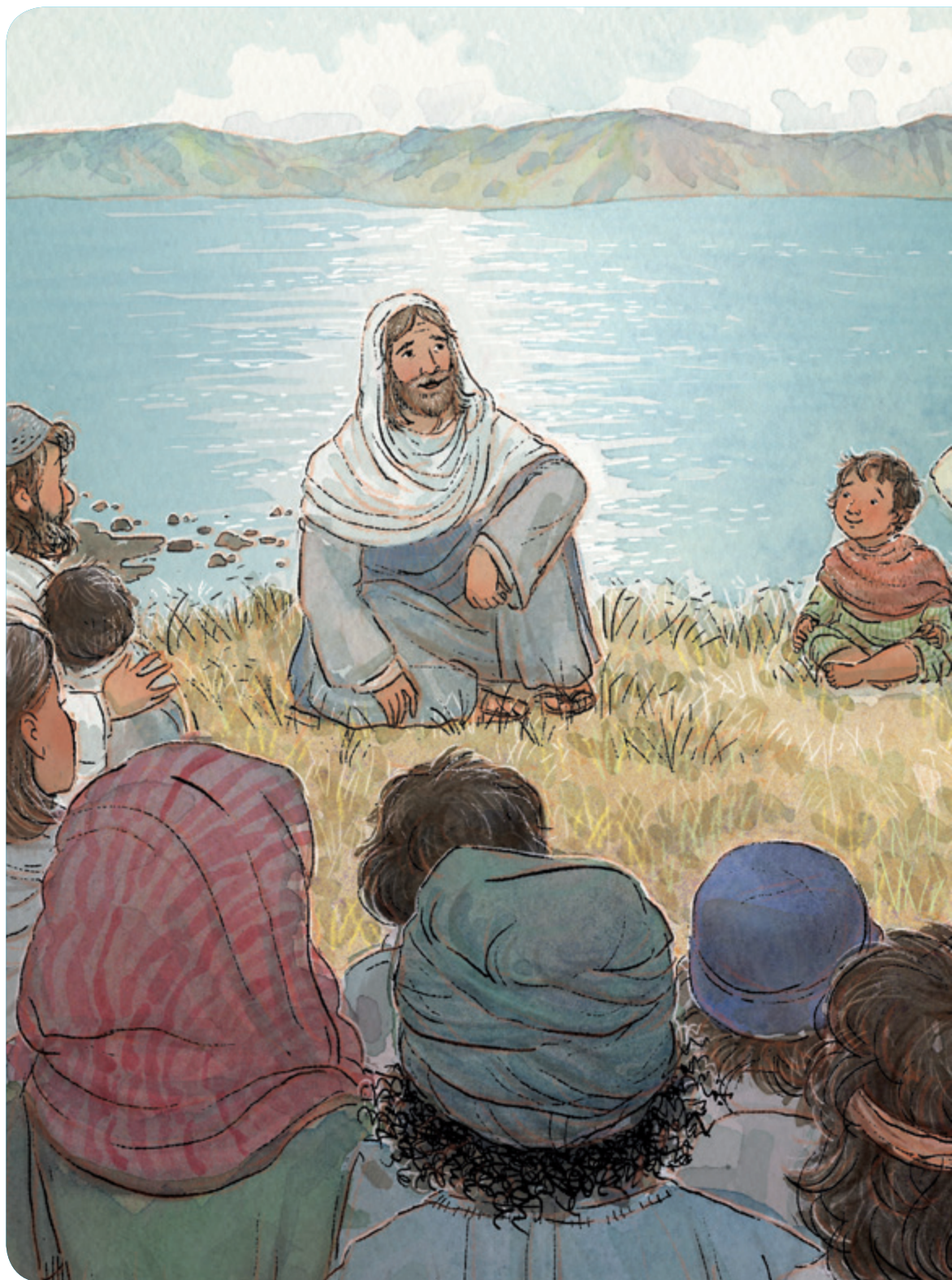


わたしたちは、神の武具、信仰箇条、教会指導者、モルモン書、リーハイのゆめについて学びました。

初等協会の活動, スペイン, サンティアゴ地方部

いのりについて^{おし}教えられたイエス

イエスは、
海^{うみ}邊^べのおかで
教^{おし}えて
おられました。
親^{しん}切^{せつ}にすること
について
教^{おし}えられました。
良^よいものはんになる
ことについて
教^{おし}えられました。
いのりについても
教^{おし}えられました。





イエスは、いのりを^{とお}通して天のお父様と^{はなし}話を^{おし}するように^{おし}教えられました。

わたしたちは、^{じぶん}自分の持っているものについて^{かみ}神に感謝^{かんしゃ}することができます。わたしたちは、^{じぶん}自分の必要なものについて^{かみ}神に^{ねが}願^{もと}い求めることができます。

わたしたちは、^{ひと}人をゆるせるようい^{ひと}のることができます。わたしたちは、^{かみ}神にゆるしを^{もと}求めることができます。わたしたちは、^よ良い^{せんたく}選択ができるようい^{ひと}のることができます。



わたしはイエスのようになることができます。わたしは毎日天のお父様にいのることができます。●

これらのイエスの教えを、マタイ6章5-13節で読むことができます。

わたしは祈ることができます



両親の皆さんへ

読む力は、多くの扉を開く、価値あるスキルです。『フレンド』を使って、だれかが読めるようになるのを助ける方法についてのアイデアを紹介します。

- イラストを使います。何が見えるか子供に尋ね、その部分を探しながら物語を読んだり聞いたりするように言います。
- 物語を声に出して読み、それに合わせて子供たちに文を指でなぞってもらいます。
- 新しい言葉が出てきたら、言葉の意味を説明し、後で練習できるよう、子供たちにその言葉を書きとめてもらいます。
- 子供たちが物語を理解する助けとなる質問を尋ねます。「ルーシーは今どんな気持ちだと思う?」「イエス様は祈りについて何を教えてくださいましたか?」「次にどんなことが起こると思いますか?」
- 物語を読み終えたら、それについて話します。何が起きたか、子供たちに話してもらいます。子供たちは何を学びましたか? 子供たちは物語のどこが気に入りましたか?

これらの物語を使ってだれかを教えるためのアイデアをぜひお聞かせください。

New Friend
50 E. North Temple St., room 2393
Salt Lake City, UT 84150 USA
liahona@ldschurch.org

愛を込めて、
『フレンド』



かかっているリアホナを見つけてみましょう!

目次

- F2 大管長会から: イエスさまのように
- F3 山上の垂訓
- F4 いのりの力
- F6 楽しい活動: 総大会を見ている間に
- F7 音楽: 主はそこにいる
- F8 イタリアからこんにちは
- F10 大きくなるローマ神殿をながめる
- F12 「愛してるよ」のいろいろな伝え方
- F14 全世界をめぐる使徒たち:
ロシアを訪問するワークドルフ長老
- F16 勇気のもはん: マッティー博士をしょうかいします
- F18 両親から学んだ教え
- F19 ショー・アンド・テル (みんなの発表)
- F20 イエスにしたがう: いのりについて教えられたイエス
- F23 色をぬりましょう: わたしは いのりことができます